吉賀町まちづくり計画及び吉賀町総合戦略
アンケート調査　報告書

令和８年７月

よしかちょう
吉賀町 Yoshika Town

目次

第1章アンケートの概要について……1
1-1.調査手法および調査内容 ……1

第2章調査結果の取りまとめ ……3
2-1.調査票の入力および集計 ……3
2-2.全住民（高校生を除く18才以上）アンケート調査結果……3
問１あなたご自身とご家族についてお聞きします。 ……4
問２現在の吉賀町の評価（満足度・重要度）についてお聞きします。 ……8
問３吉賀町が進めるまちづくりについてお聞きします。 ……23
問４今後の吉賀町についてお聞きします。 ……26

2-3.中学生・高校生アンケート調査結果 ……31
問１あなたご自身とご家族についてお聞きします。 ……32
問２現在の吉賀町についてお聞きします。 ……34
問３今後の吉賀町についてお聞きします。 ……37

第１章アンケートの概要について

１－１．調査手法および調査内容

１）全住民（高校生を除く 18 歳以上）アンケート調査

（１）調査概要

目　的	現行のまちづくり計画・総合戦略の評価 第 3 期まちづくり計画策定のための基礎調査　等
期　間	令和 8 年 5 月 7 日～6 月 5 日
対象者	吉賀町に住む 18 歳以上の住民 2,700 名（高校生を除く）
方　法	アンケート調査（郵送配布・回収、web 調査）
回収数	1,071 サンプル（回収率 39.7%）

（２）調査内容

アンケートの調査項目は、以下の通り。

設問番号	回答方式	調査項目
問１	単一回答	回答者の属性について（性別、年齢、居住地等）
	複数回答	同居する子どもの年齢
問２	単一回答	吉賀町の評価（満足度・重要度）
問３	単一回答	吉賀町が進めるまちづくりについて
問４	単一回答	回答者及び回答者の子供・孫等の今後の定住意向
	複数回答	今後のまちづくりで重要と思う施策
問５	複数回答	吉賀町の教育環境について

2）中高生アンケート調査

（1）調査概要

目　的	今後、町の将来を担っていく中高生のニーズ把握　等
期　間	令和 8 年 7 月
対象者	吉賀町に住む全中高生 167 名
方　法	アンケート調査（町内の中学校・高校等を通じた配布・回収、web 調査）
回収数	135 サンプル（回収率 80.8%）

（2）調査内容

アンケートの調査項目は、以下の通り。

設問番号	回答方式	調査項目
問 1	単一回答	回答者の属性について（性別、通学先、出身地　等）
問 2	単一回答	吉賀町の評価（満足度・重要度）
問 3	単一回答	今後の吉賀町について

3）生活満足度とまちづくり重要度の分析について

町の施策に対する住民の満足度及び重要度の分析にあたり、アンケート調査結果を数値化して、各項目について住民意識の度合いを評価した。

■数値化について：アンケートの選択肢に以下のように点数をつけて数値化しその平均値を「満足度」及び「重要度」とした。

満足度

選択肢	点数
1. 満足している	10
2. どちらかといえば満足している	5
3. どちらかといえば不満である	-5
4. 不満である	-10

重要度

選択肢	点数
A. とても重要である	10
B. どちらかといえば重要である	5
C. どちらかといえば重要でない	-5
D. 重要ではない	-10

第２章　調査結果の取りまとめ

２－１．調査票の入力および集計

吉賀町に住む 18 歳以上の住民調査は 1,071 サンプル、中高生調査は 135 サンプルの調査票を回収し、各調査について入力・集計を行った。

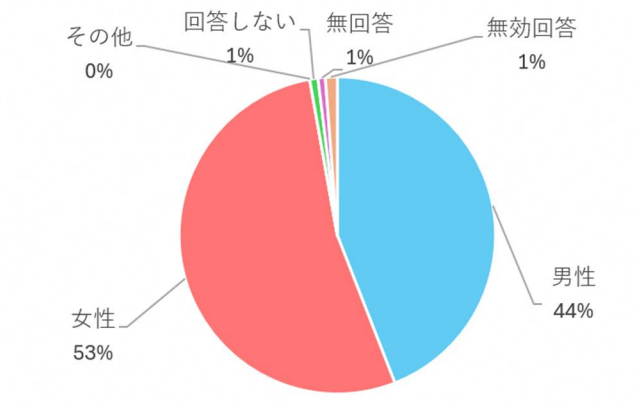
２－２．全住民（高校生を除く 18 才以上）アンケート調査結果

■調査概要（再掲）

目　的	現行のまちづくり計画・総合戦略の評価 第３期まちづくり計画策定のための基礎調査　等
期　間	令和８年５月７日～6 月５日
対象者	吉賀町に住む 18 歳以上の住民 2,700 名（高校生を除く）
方　法	アンケート調査（郵送配布・回収、web 調査）
回収数	1,071 サンプル（回収率 39.7%）

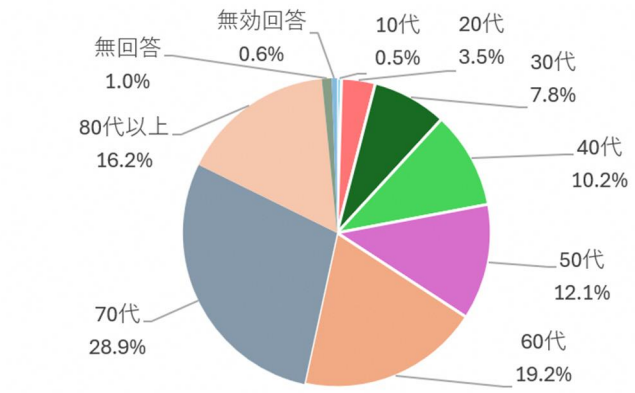
問１　あなた ご自身とご家族についてお聞きします 。

１－１　性別



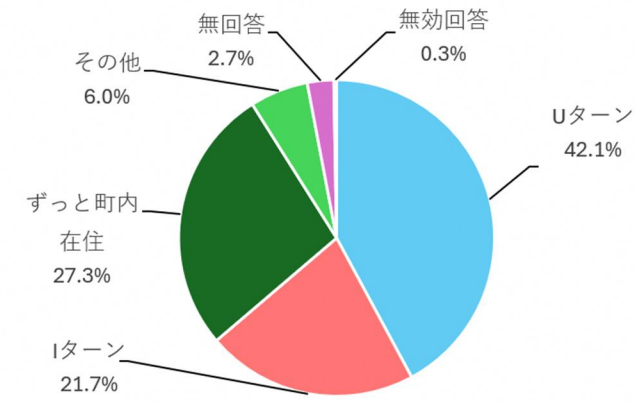
回答区分	件数	割合
男性	472	44.1%
女性	569	53.1%
その他	0	0.0%
回答しない	9	0.8%
無回答	8	0.7%
無効回答	13	1.2%
合計	1071	100.0%

１－２　年代



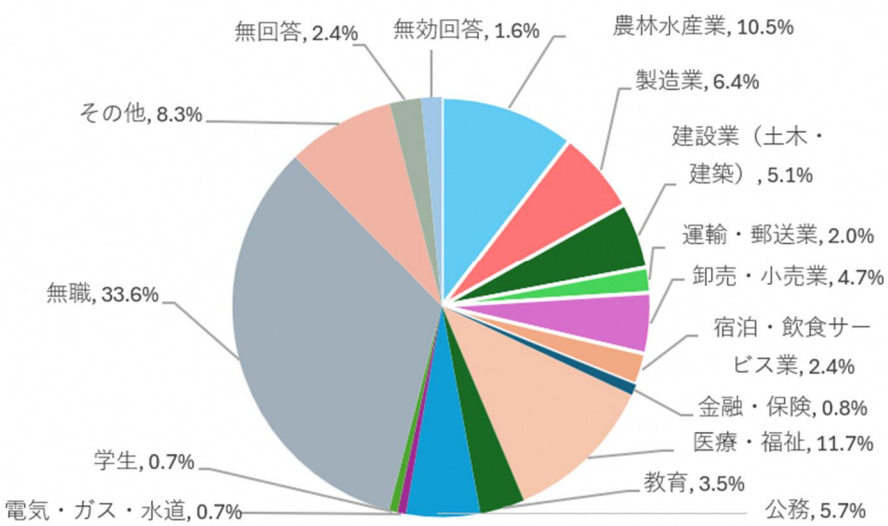
回答区分	件数	割合
10代	5	0.5%
20代	38	3.5%
30代	84	7.8%
40代	109	10.2%
50代	130	12.1%
60代	206	19.2%
70代	309	28.9%
80代以上	173	16.2%
無回答	11	1.0%
無効回答	6	0.6%
合計	1071	100.0%

１－３　U・Iターンの有無



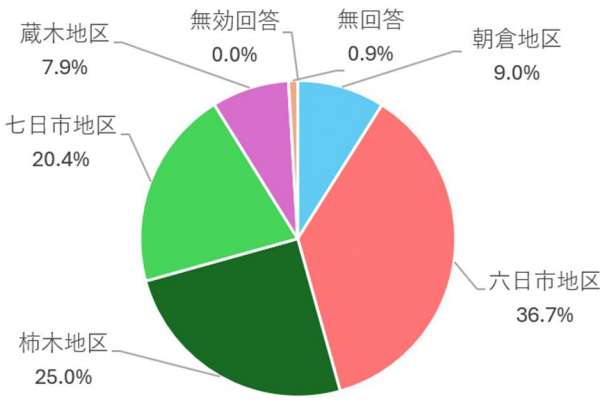
回答区分	件数	割合
Uターン	451	42.1%
Iターン	232	21.7%
ずっと町内在住	292	27.3%
その他	64	6.0%
無回答	29	2.7%
無効回答	3	0.3%
合計	1071	100.0%

１－４　主たる職業



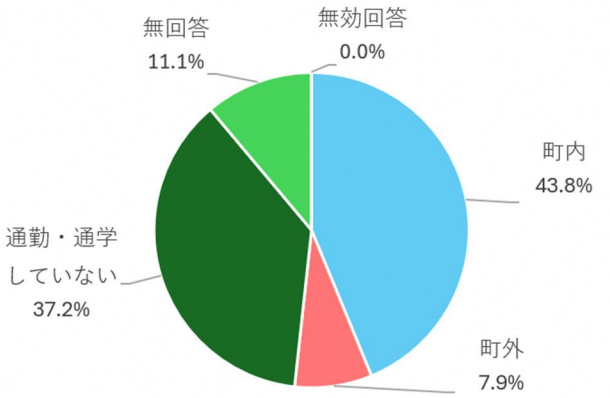
回答区分	件数	割合
農林水産業	112	10.5%
製造業	69	6.4%
建設業（土木・建築）	55	5.1%
運輸・郵送業	21	2.0%
卸売・小売業	50	4.7%
宿泊・飲食サービス業	26	2.4%
金融・保険	9	0.8%
医療・福祉	125	11.7%
教育	37	3.5%
公務	61	5.7%
電気・ガス・水道	7	0.7%
学生	7	0.7%
無職	360	33.6%
その他	89	8.3%
無回答	26	2.4%
無効回答	17	1.6%
合計	1071	100.0%

１－５　居住地（公民館区）



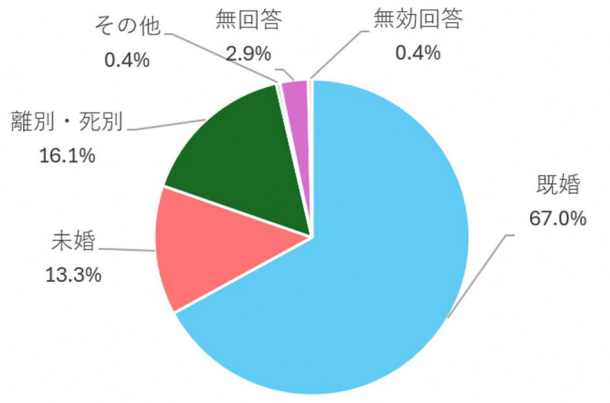
回答区分	件数	割合
朝倉地区	96	9.0%
六日市地区	393	36.7%
柿木地区	268	25.0%
七日市地区	219	20.4%
蔵木地区	85	7.9%
無回答	10	0.9%
無効回答	0	0.0%
合計	1071	100.0%

１－６　通勤・通学先



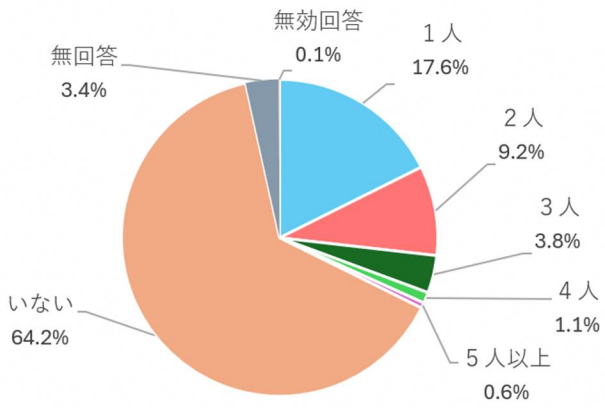
回答区分	件数	割合
町内	469	43.8%
町外	85	7.9%
通勤・通学していない	398	37.2%
無回答	119	11.1%
無効回答	0	0.0%
合計	1071	100.0%

１－７　婚姻状況



回答区分	件数	割合
既婚	718	67.0%
未婚	142	13.3%
離別・死別	172	16.1%
その他	4	0.4%
無回答	31	2.9%
無効回答	4	0.4%
合計	1071	100.0%

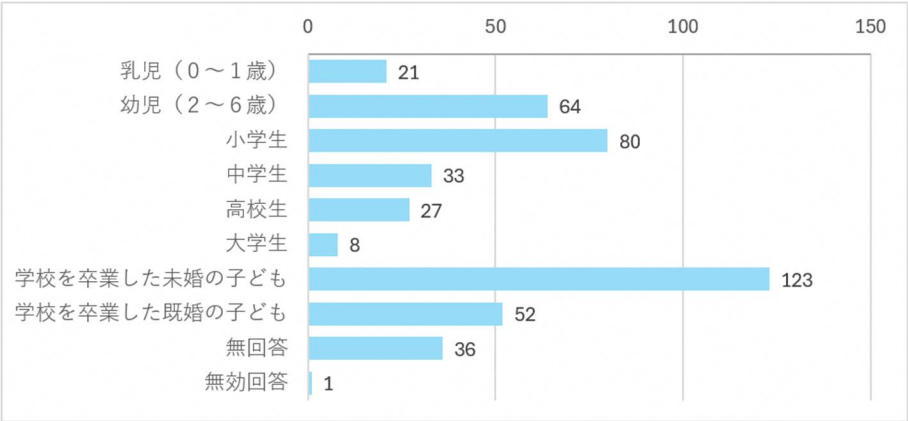
１－８　同居する子どもの人数



回答区分	件数	割合
１人	189	17.6%
２人	98	9.2%
３人	41	3.8%
４人	12	1.1%
５人以上	6	0.6%
いない	688	64.2%
無回答	36	3.4%
無効回答	1	0.1%
合計	1071	100.0%

１－９　同居する子どもの年齢

（１－８で「いない」と回答した人、「無回答」「無効回答」を除く）

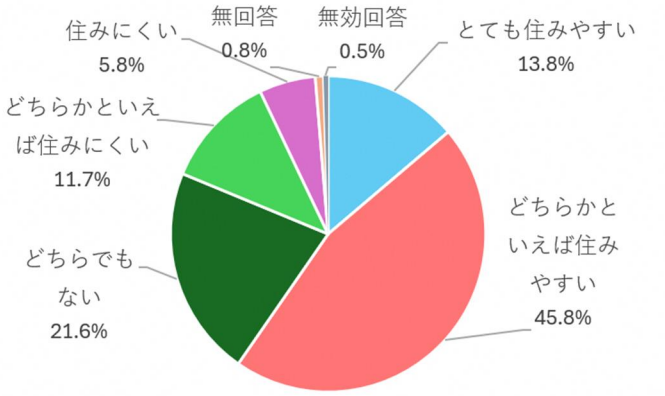


回答区分	件数	割合
乳児（０～１歳）	21	4.7%
幼児（２～６歳）	64	14.4%
小学生	80	18.0%
中学生	33	7.4%
高校生	27	6.1%
大学生	8	1.8%
学校を卒業した未婚の子ども	123	27.6%
学校を卒業した既婚の子ども	52	11.7%
無回答	36	8.1%
無効回答	1	0.2%
合計	445	100.0%

※設問１-９は、複数回答のため回答数が１-８で「子どもがいる」との回答数を上回る。

問２　現在の吉賀町の評価（満足度・重要度）についてお聞きします。　（単数回答）

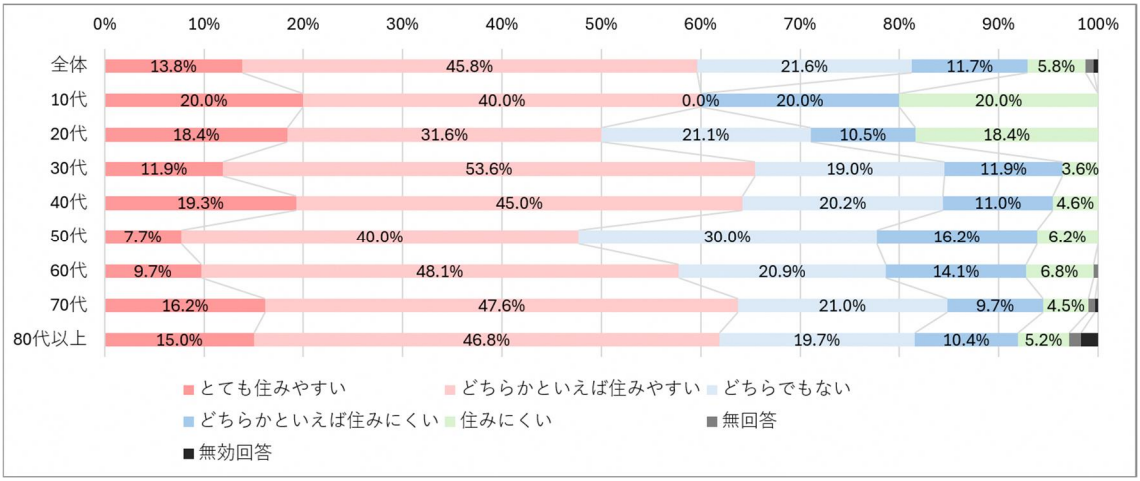
2-1 吉賀町の住みやすさ



回答区分	件数	割合
とても住みやすい	148	13.8%
どちらかといえば住みやすい	491	45.8%
どちらでもない	231	21.6%
どちらかといえば住みにくい	125	11.7%
住みにくい	62	5.8%
無回答	9	0.8%
無効回答	5	0.5%
合計	1071	100.0%

「住みやすい」（「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」合計。以下同）との回答は 59.6%と約 6 割を占めている。一方、「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」合計。以下同じ）との回答は 17.5%、「どちらでもない」は 21.6%となっている。

2-1-1　吉賀町の暮らしやすさ（クロス集計：年代別）

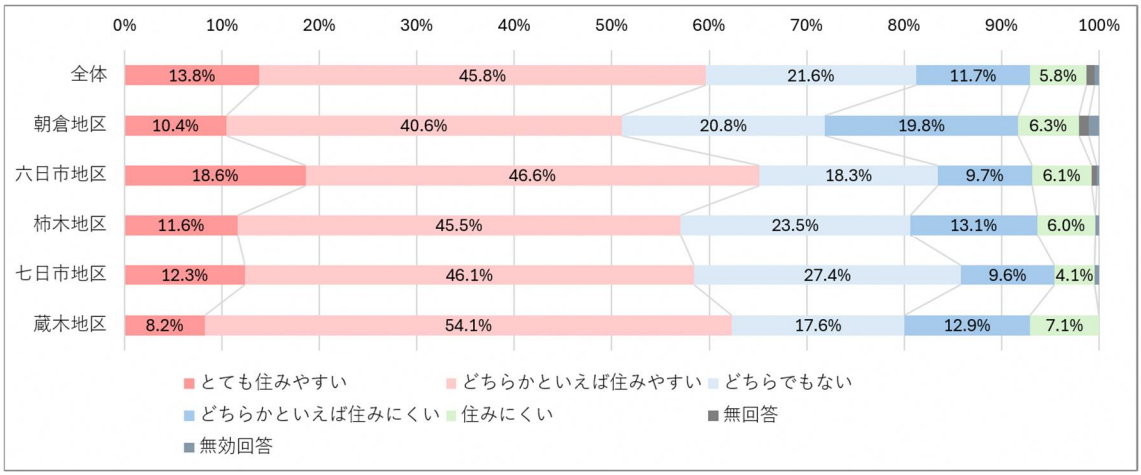


回答区分	全体		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上	
とても住みやすい	148	13.8%	1	20.0%	7	18.4%	10	11.9%	21	19.3%	10	7.7%	20	9.7%	50	16.2%	26	15.0%
どちらかといえば住みやすい	491	45.8%	2	40.0%	12	31.6%	45	53.6%	49	45.0%	52	40.0%	99	48.1%	147	47.6%	81	46.8%
どちらでもない	231	21.6%	0	0.0%	8	21.1%	16	19.0%	22	20.2%	39	30.0%	43	20.9%	65	21.0%	34	19.7%
どちらかといえば住みにくい	125	11.7%	1	20.0%	4	10.5%	10	11.9%	12	11.0%	21	16.2%	29	14.1%	30	9.7%	18	10.4%
住みにくい	62	5.8%	1	20.0%	7	18.4%	3	3.6%	5	4.6%	8	6.2%	14	6.8%	14	4.5%	9	5.2%
無回答	9	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	2	0.6%	2	1.2%
無効回答	5	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	3	1.7%
合計	1071	100.0%	5	100.0%	38	100.0%	84	100.0%	109	100.0%	130	100.0%	206	100.0%	309	100.0%	173	100.0%

※年代に関する設問の無回答・無効回答者は 17 名。

年代別にみると、「住みやすい」との回答割合は 30 代が 65.5%と最も高く、20 代では「住みにくい」との回答割合が 28.9%と最も高くなっている。また、50 代では「どちらでもない」との回答割合が 30.0%と他の年代に比べて高くなっている。

2-1-2　吉賀町の暮らしやすさ（クロス集計：地区別）

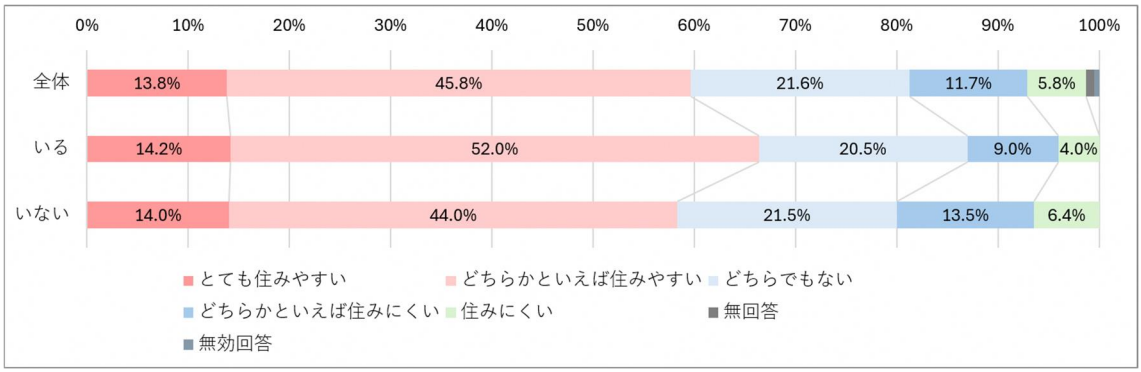


回答区分	全体		朝倉地区		六日市地区		柿木地区		七日市地区		蔵木地区	
とても住みやすい	148	13.8%	10	10.4%	73	18.6%	31	11.6%	27	12.3%	7	8.2%
どちらかといえば住みやすい	491	45.8%	39	40.6%	183	46.6%	122	45.5%	101	46.1%	46	54.1%
どちらでもない	231	21.6%	20	20.8%	72	18.3%	63	23.5%	60	27.4%	15	17.6%
どちらかといえば住みにくい	125	11.7%	19	19.8%	38	9.7%	35	13.1%	21	9.6%	11	12.9%
住みにくい	62	5.8%	6	6.3%	24	6.1%	16	6.0%	9	4.1%	6	7.1%
無回答	9	0.8%	1	1.0%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無効回答	5	0.5%	1	1.0%	1	0.3%	1	0.4%	1	0.5%	0	0.0%
合計	1071	100.0%	96	100.0%	393	100.0%	268	100.0%	219	100.0%	85	100.0%

※地区に関する設問の無回答・無効回答者は 10 名。

地区別では、「住みやすい」との回答割合は六日市地区（65.2%）が最も高く、次いで蔵木地区（62.3%）となっている。一方、朝倉地区では「住みにくい」との回答割合が26.1%と他地区に比べて高くなっている。

2-1-3　吉賀町の暮らしやすさ（クロス集計：子どもの有無）

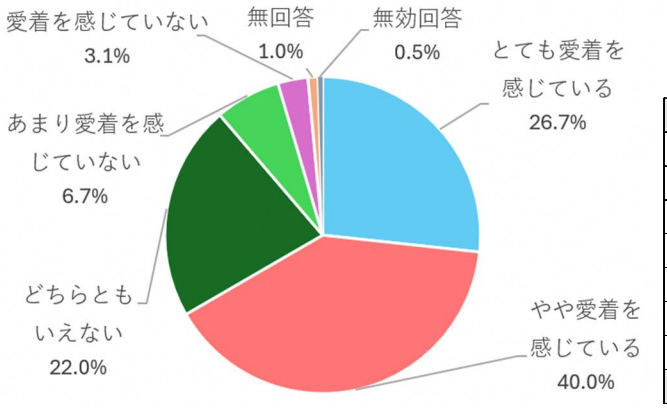


回答区分	全体		いる		いない	
とても住みやすい	148	13.8%	49	14.2%	96	14.0%
どちらかといえば住みやすい	491	45.8%	180	52.0%	303	44.0%
どちらでもない	231	21.6%	71	20.5%	148	21.5%
どちらかといえば住みにくい	125	11.7%	31	9.0%	93	13.5%
住みにくい	62	5.8%	14	4.0%	44	6.4%
無回答	9	0.8%	0	0.0%	2	0.0%
無効回答	5	0.5%	1	0.0%	2	0.0%
合計	1071	100.0%	346	99.7%	688	99.4%

※子どもの有無に関する設問の無回答・無効回答者は 37 名。

子どもの有無別にみると、「住みやすい」との回答割合は、子どもがいる世帯で 66.2%、子どもがいない世帯で 58.0%となっている。一方、「住みにくい」との回答割合は、子どもがいる世帯で 13.0%、子どもがいない世帯で 19.9%となっている。

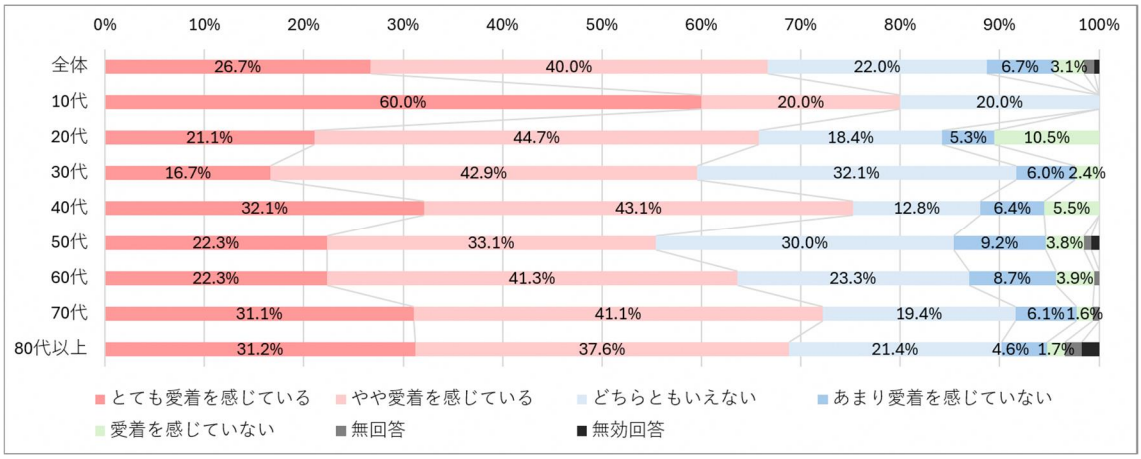
2-2　吉賀町に対する愛着



回答区分	件数	割合
とても愛着を感じている	286	26.7%
やや愛着を感じている	428	40.0%
どちらともいえない	236	22.0%
あまり愛着を感じていない	72	6.7%
愛着を感じていない	33	3.1%
無回答	11	1.0%
無効回答	5	0.5%
合計	1071	100.0%

「愛着を感じている」（「とても愛着を感じている」「やや愛着を感じている」の合計。以下同。）の割合は 66.7%となっている。一方、「愛着を感じていない」（「あまり愛着を感じていない」「愛着を感じていない」の合計。以下同。）の割合は 9.8%と全体の 1 割程度となっている。

2-2-1　吉賀町に対する愛着（クロス集計：年代別）

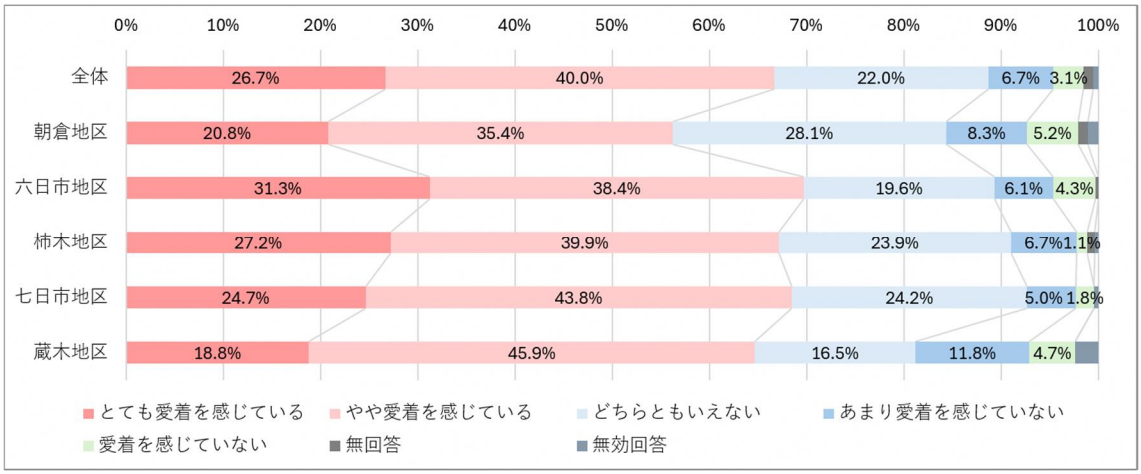


回答区分	全体		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上	
とても愛着を感じている	286	26.7%	3	60.0%	8	21.1%	14	16.7%	35	32.1%	29	22.3%	46	22.3%	96	31.1%	54	31.2%
やや愛着を感じている	428	40.0%	1	20.0%	17	44.7%	36	42.9%	47	43.1%	43	33.1%	85	41.3%	127	41.1%	65	37.6%
どちらともいえない	236	22.0%	1	20.0%	7	18.4%	27	32.1%	14	12.8%	39	30.0%	48	23.3%	60	19.4%	37	21.4%
あまり愛着を感じていない	72	6.7%	0	0.0%	2	5.3%	5	6.0%	7	6.4%	12	9.2%	18	8.7%	19	6.1%	8	4.6%
愛着を感じていない	33	3.1%	0	0.0%	4	10.5%	2	2.4%	6	5.5%	5	3.8%	8	3.9%	5	1.6%	3	1.7%
無回答	11	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.5%	2	0.6%	3	1.7%
無効回答	5	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
合計	1071	100.0%	5	100.0%	38	100.0%	84	100.0%	109	100.0%	130	100.0%	206	100.0%	309	100.0%	173	100.0%

※年代に関する設問の無回答・無効回答者は 17 名。

年代別では、「愛着を感じている」割合が 10 代で 80.0%と最も高く、次いで、40 代（75.2%）、70 代（72.2%）となっている。一方、「愛着を感じていない」割合は、50 代で 39.2%と最も高く、次いで、30 代（38.1%）となっている。

2-2-2　吉賀町に対する愛着（クロス集計：地区別）

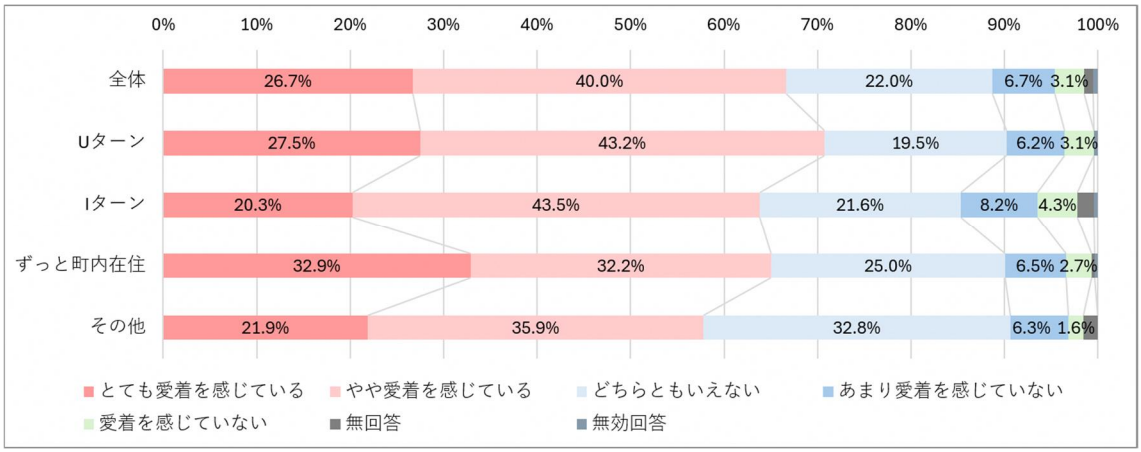


回答区分	全体		朝倉地区		六日市地区		柿木地区		七日市地区		蔵木地区	
とても愛着を感じている	286	26.7%	20	20.8%	123	31.3%	73	27.2%	54	24.7%	16	18.8%
やや愛着を感じている	428	40.0%	34	35.4%	151	38.4%	107	39.9%	96	43.8%	39	45.9%
どちらともいえない	236	22.0%	27	28.1%	77	19.6%	64	23.9%	53	24.2%	14	16.5%
あまり愛着を感じていない	72	6.7%	8	8.3%	24	6.1%	18	6.7%	11	5.0%	10	11.8%
愛着を感じていない	33	3.1%	5	5.2%	17	4.3%	3	1.1%	4	1.8%	4	4.7%
無回答	11	1.0%	1	1.0%	1	0.3%	2	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
無効回答	5	0.5%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.5%	2	2.4%
合計	1071	100.0%	96	100.0%	393	100.0%	268	100.0%	219	100.0%	85	100.0%

※地区に関する設問の無回答・無効回答者は 10 名。

地区別では、「愛着を感じている」割合が六日市地区で 69.7%%と最も高く、次いで、七日市地区（68.5%）となっている。一方、「愛着を感じていない」割合は、蔵木地区が 16.5%と他地区に比べ高くなっている。

2-2-3　吉賀町に対する愛着（クロス集計：UI ターンの有無別）



回答区分	全体		Uターン		Iターン		ずっと町内在住		その他	
とても愛着を感じている	286	26.7%	124	27.5%	47	20.3%	96	32.9%	14	21.9%
やや愛着を感じている	428	40.0%	195	43.2%	101	43.5%	94	32.2%	23	35.9%
どちらともいえない	236	22.0%	88	19.5%	50	21.6%	73	25.0%	21	32.8%
あまり愛着を感じていない	72	6.7%	28	6.2%	19	8.2%	19	6.5%	4	6.3%
愛着を感じていない	33	3.1%	14	3.1%	10	4.3%	8	2.7%	1	1.6%
無回答	11	1.0%	0	0.0%	4	1.7%	1	0.3%	1	1.6%
無効回答	5	0.5%	2	0.4%	1	0.4%	1	0.3%	0	0.0%
合計	1071	100.0%	451	100.0%	232	100.0%	292	100.0%	64	100.0%

※UI ターンに関する設問の無回答・無効回答者は 32 名。

UI ターンの有無別では、「愛着を感じている」割合が U ターンが 70.7%と最も高く、次いで、ずっと町内在住が 65.1%となっている。一方で、「愛着を感じていない」割合は、I ターンが 12.5%と最も高くなっている。

2-3 吉賀町で生活するうえでの満足度、今後のまちづくりにおける重要度

2-3-1 満足度

Ⅰ都市基盤や地域の社会基盤に関すること

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	無回答	意思表明者	満足度	前回調査時満足度	前回比
1.町内の道路網の整備	158	469	225	97	99	23	1048	1.75	2.04	-0.29
2.高速道路など広域的な道路網	328	476	78	38	117	34	1037	4.72	4.11	0.61
3.鉄道の利用のしやすさ	23	63	194	445	289	57	1014	-4.81	-4.81	0.00
4.バスの利用のしやすさ	47	179	255	280	268	42	1029	-2.63	-3.09	0.46
5.情報通信回線網	123	362	163	141	250	32	1039	0.78	0.40	0.38
6.公民館・ホールなど公共施設の利用のしやすさ	103	385	125	63	363	32	1039	1.64	1.71	-0.07
7.町中心部のにぎわいや娯楽に関する魅力	29	114	281	384	232	31	1040	-4.22	-4.2	-0.02
8.住宅地の整備・供給	62	263	177	120	404	45	1026	-0.15	-0.72	0.57
9.暮らしやすい住宅の確保	106	316	147	114	350	38	1033	0.74	0.25	0.49
10.日常の買い物等の利便性	96	359	280	274	39	23	1048	-1.32	-1.19	-0.13

Ⅱ 身近な生活環境や自然環境に関すること

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	無回答	意思表明者	満足度	前回調査時満足度	前回比
1.ゴミの減量化・リサイクルに関する取り組み	195	528	114	51	165	18	1053	3.33	2.54	0.79
2.省エネルギーの推進やクリーン・エネルギーの活用	57	246	169	54	494	51	1020	0.41	-0.05	0.46
3.安全でおいしい水が安定して供給される環境	387	507	59	28	61	29	1042	5.60	5.38	0.22
4.下水道など、生活排水が衛生的に処理される環境	267	401	145	105	121	32	1039	2.79	2.14	0.65
5.公園や広場、街路樹などの地域環境	74	285	281	144	246	41	1030	-0.66	-1.15	0.49
6.水辺に親しむことのできる環境	120	332	204	114	257	44	1027	0.68	-0.32	1.00
7.街の景観	83	337	274	120	221	36	1035	-0.05	-0.44	0.39
8.自然環境の保全に関する取り組み	76	321	207	85	344	38	1033	0.46	-0.44	0.90

Ⅲ 安心安全に関すること

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	無回答	意思表明者	満足度	前回調査時満足度	前回比
1.災害に強い基盤整備	56	328	252	92	302	41	1030	0.02	-1.16	1.18
2.地域での防災組織や防災活動	69	395	209	60	292	46	1025	1.00	0.67	0.33
3.消防・救急に関する取り組み	111	374	220	146	175	45	1026	0.41	2.20	-1.79
4.防犯に関する取り組み	59	300	241	91	330	50	1021	-0.02	0.73	-0.75
5.安全で安心して歩行できる道路	84	346	328	167	106	40	1031	-0.72	-0.81	0.09
6.交通安全意識の向上のための取り組み	70	371	216	60	311	43	1028	0.85	0.70	0.15

Ⅳ 人権に関すること

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	無回答	意思表明者	満足度	前回調査時満足度	前回比
1.人権意識の向上のための取り組み	62	285	152	63	470	39	1032	0.63	0.24	0.39
2.住民の人権を守るための取り組み	61	289	152	58	466	45	1026	0.70	0.23	0.47

Ⅴ 男女共同参画に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.男性と女性が等しく参画できる社会	86	342	144	60	404	35	1036	1.21	0.97	0.24

Ⅵ 健康福祉医療に関すること

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	無回答	意思表明者	満足度	前回調査時満足度	前回比
1.健康に暮らすための情報提供や意識向上に関する取組	116	526	149	52	177	51	1020	2.48	2.70	-0.22
2.健康診断や健康相談	197	585	98	37	117	37	1034	3.90	4.24	-0.34
3.安心できる医療体制・医療サービス	77	244	325	303	83	39	1032	-2.58	-1.09	-1.49
4.障がい者(児)が安心して暮らせる環境	52	246	200	91	439	43	1028	-0.16	-0.12	-0.04
5.高齢者が安心して暮らせる環境	74	330	278	160	193	36	1035	-0.58	-0.18	-0.40
6.生涯現役で暮らすことのできる環境	49	276	253	136	313	44	1027	-0.74	-0.59	-0.15
7.みんなで助け合う地域の福祉活動	79	371	189	84	300	48	1023	0.84	0.60	0.24
8.安心して子育てのできる環境	105	319	149	70	375	53	1018	1.18	1.72	-0.54
9.医療保障や老後保障	54	238	253	212	273	41	1030	-1.61	-0.94	-0.67

Ⅶ 学校教育・学習や文化に関すること

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	無回答	意思表明者	満足度	前回調査時満足度	前回比
1.個々の能力・適性に応じた学校教育	53	236	109	46	563	64	1007	0.70	0.63	0.07
2.学校施設の整備	58	244	124	57	523	65	1006	0.61	0.91	-0.30
3.生涯学習に取り組むための機会	44	242	143	51	518	73	998	0.43	0.21	0.22
4.公民館活動や社会教育活動に参加できる機会	80	360	118	45	395	73	998	1.56	1.04	0.52
5.公民館・図書館等の施設	105	446	114	46	294	66	1005	2.24	1.93	0.31
6.文化財の保全・活用	34	244	105	52	567	69	1002	0.51	0.19	0.32
7.歴史・文化・芸術に親しむことのできる環境	36	207	180	89	488	71	1000	-0.40	-0.82	0.43
8.スポーツに親しむことのできる環境	52	339	166	79	370	65	1006	0.59	0.23	0.36

Ⅷ 地域産業・経済活動に関すること

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	無回答	意思表明者	満足度	前回調査時満足度	前回比
1.観光施設や観光のための交通網	32	147	291	214	327	60	1011	-2.51	-2.46	-0.05
2.観光客を誘致するための取り組み	25	93	245	237	412	59	1012	-2.85	-3.22	0.37
3.中心商店街の魅力	19	61	311	423	203	54	1017	-5.20	-4.75	-0.45
4.身近な地域における商業活動	23	105	295	268	329	51	1020	-3.33	-3.30	-0.03
5.企業誘致の取り組み	21	93	195	250	452	60	1011	-2.77	-2.61	-0.16
6.企業活動や起業・創業を行う環境	16	84	196	193	520	62	1009	-2.31	-2.38	0.07
7.雇用の場・雇用の機会	24	123	263	261	342	58	1013	-3.03	-3.27	0.24
8.農林業振興の取り組み	27	153	197	162	475	57	1014	-1.55	-2.09	0.54
9.地産地消の取り組み	57	272	187	133	364	58	1013	-0.33	-1.19	0.86

Ⅸ まちづくりや役場の行政サービスに関すること

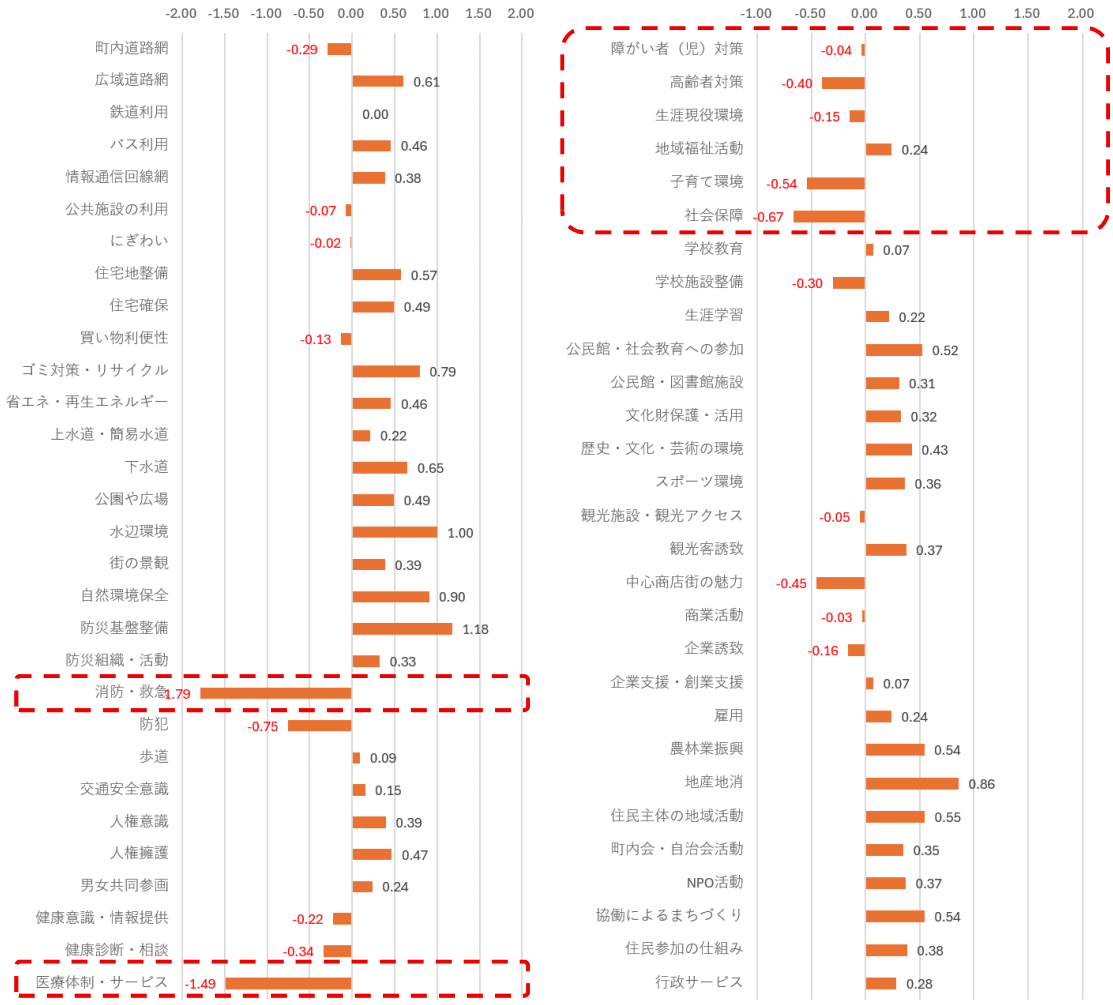
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない	無回答	意思表明者	満足度	前回調査時満足度	前回比
1.住民が主体となった地域活動	52	340	183	75	349	72	999	0.56	0.01	0.55
2.町内会活動や自治会活動	52	393	184	79	289	74	997	0.78	0.43	0.35
3.NPOなどの市民活動	22	143	99	44	680	83	988	0.00	-0.37	0.37
4.協力（協働）によるまちづくり	30	184	168	93	512	84	987	-0.56	-1.10	0.54
5.住民がまちづくりに参加するための仕組みづくり	30	173	185	95	508	80	991	-0.72	-1.10	0.38
6.住民に便利な行政サービス	44	252	212	136	347	80	991	-0.73	-1.01	0.28

満足度



満足度をみると、「鉄道利用」「バス利用」の公共交通に関する項目や町中心部の魅力に関する項目である「にぎわい」、その他、「中心商店街の魅力」「商業活動」「雇用」など産業・経済活動に関する項目、「医療体制・サービス」で満足度が低くなっている。一方、「町内道路網」「広域道路網」など都市・社会基盤や「上水道・簡易水道」「下水道」「ゴミの減量化・リサイクルに関する取り組み」など生活基盤に関する項目、「健康診断・相談」「健康意識・情報提供」など健康に関する項目、では満足度が高くなっている。

満足度（前回との比較）横棒グラフ



満足度の前回比較を見ると、「消防・救急」や「医療体制・サービス」が大きく低下し、「社会保障」「子育て環境」「高齢者対策」など健康医療福祉に関する項目の低下が目立っている。一方、生活基盤や産業・経済、社会教育、まちづくりに関する項目の多くでは満足度が上がっている。

2-3-2 重要度

Ⅰ都市基盤や地域の社会基盤に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.町内の道路網の整備	382	447	36	26	87	93	978	5.74	6.11	-0.37
2.高速道路など広域的な道路網	415	385	43	31	101	96	975	5.69	5.62	0.07
3.鉄道の利用のしやすさ	184	291	129	92	253	122	949	1.82	1.91	-0.09
4.バスの利用のしやすさ	358	377	48	30	153	105	966	5.10	5.56	-0.46
5.情報通信回線網	432	340	32	12	157	98	973	5.90	5.87	0.03
6.公民館・ホールなど公共施設の利用のしやすさ	194	444	87	25	220	101	970	3.58	3.83	-0.25
7.町中心部のにぎわいや娯楽に関する魅力	236	455	82	38	153	107	964	3.99	3.81	0.18
8.住宅地の整備・供給	262	410	42	27	224	106	965	4.34	4.69	-0.35
9.暮らしやすい住宅の確保	338	395	37	19	170	112	959	5.19	5.46	-0.27
10.日常の買い物等の利便性	561	344	26	12	35	93	978	7.24	7.2	0.04

Ⅱ 身近な生活環境や自然環境に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.ゴミの減量化・リサイクルに関する取り組み	469	413	37	12	83	57	1014	6.36	6.57	-0.21
2.省エネルギーの推進やクリーン・エネルギーの活用	316	359	47	28	239	82	989	4.49	5.15	-0.66
3.安全でおいしい水が安定して供給される環境	687	249	16	6	44	69	1002	7.96	8.01	-0.05
4.下水道など、生活排水が衛生的に処理される環境	630	295	18	5	58	65	1006	7.59	7.86	-0.27
5.公園や広場、街路樹などの地域環境	265	478	78	38	132	80	991	4.31	4.43	-0.12
6.水辺に親しむことのできる環境	255	444	93	31	175	73	998	4.00	4.23	-0.23
7.街の景観	269	471	81	28	148	74	997	4.37	4.21	0.16
8.自然環境の保全に関する取り組み	357	422	46	16	161	69	1002	5.28	5.54	-0.26

Ⅲ 安心安全に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.災害に強い基盤整備	631	276	13	4	83	64	1007	7.53	7.97	-0.44
2.地域での防災組織や防災活動	498	383	24	3	93	70	1001	6.74	7.11	-0.37
3.消防・救急に関する取り組み	657	274	13	4	56	67	1004	7.80	7.62	0.18
4.防犯に関する取り組み	538	354	20	5	87	67	1004	6.97	7.17	-0.20
5.安全で安心して歩行できる道路	542	381	20	12	52	64	1007	7.06	7.29	-0.23
6.交通安全意識の向上のための取り組み	449	398	25	19	112	68	1003	6.15	6.65	-0.50

Ⅳ 人権に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.人権意識の向上のための取り組み	332	430	25	16	195	73	998	5.20	5.77	-0.57
2.住民の人権を守るための取り組み	374	395	26	14	191	71	1000	5.45	5.99	-0.55

Ⅴ 男女共同参画に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.男性と女性が等しく参画できる社会	320	432	43	26	200	50	1021	4.78	5.49	-0.71

Ⅵ 健康福祉医療に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.健康に暮らすための情報提供や意識向上に関する取組	429	449	35	11	78	69	1002	6.24	6.74	-0.50
2.健康診断や健康相談	484	427	22	11	57	70	1001	6.75	7.32	-0.57
3.安心できる医療体制・医療サービス	721	223	12	7	41	67	1004	8.16	8.47	-0.31
4.障がい者(児)が安心して暮らせる環境	511	317	17	6	151	69	1002	6.54	7.33	-0.79
5.高齢者が安心して暮らせる環境	600	312	20	8	66	65	1006	7.34	8	-0.66
6.生涯現役で暮らすことのできる環境	484	365	26	10	111	75	996	6.46	6.98	-0.52
7.みんなで助け合う地域の福祉活動	421	423	29	12	117	69	1002	6.05	6.79	-0.74
8.安心して子育てのできる環境	545	319	9	3	117	78	993	7.02	7.44	-0.42
9.医療保障や老後保障	596	299	12	6	89	69	1002	7.32	7.96	-0.64

Ⅶ 学校教育・学習や文化に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.個々の能力・適性に応じた学校教育	412	354	12	12	182	99	972	5.87	6.4	-0.53
2.学校施設の整備	345	386	20	11	207	102	969	5.34	5.88	-0.54
3.生涯学習に取り組むための機会	242	434	57	24	206	108	963	4.22	4.92	-0.70
4.公民館活動や社会教育活動に参加できる機会	224	458	64	26	196	103	968	4.08	4.3	-0.22
5.公民館・図書館等の施設	229	497	48	25	174	98	973	4.40	4.99	-0.59
6.文化財の保全・活用	188	396	72	31	279	105	966	3.30	3.95	-0.65
7.歴史・文化・芸術に親しむことのできる環境	203	416	80	32	238	102	969	3.50	4.03	-0.53
8.スポーツに親しむことのできる環境	230	485	72	23	167	94	977	4.23	4.65	-0.42

Ⅷ 地域産業・経済活動に関すること

	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.観光施設や観光のための交通網	254	420	104	34	171	88	983	3.85	3.93	-0.08
2.観光客を誘致するための取り組み	248	410	88	49	187	89	982	3.67	3.59	0.08
3.中心商店街の魅力	302	423	76	39	146	85	986	4.43	4.94	-0.51
4.身近な地域における商業活動	274	441	53	21	192	90	981	4.56	4.71	-0.15
5.企業誘致の取り組み	365	336	36	20	224	90	981	5.05	5.22	-0.17
6.企業活動や起業・創業を行う環境	305	363	40	15	258	90	981	4.60	4.99	-0.39
7.雇用の場・雇用の機会	478	331	16	7	156	83	988	6.36	6.81	-0.45
8.農林業振興の取り組み	344	342	41	9	252	83	988	4.91	5.59	-0.68
9.地産地消の取り組み	373	373	36	14	192	83	988	5.34	5.98	-0.64

Ⅸ まちづくりや役場の行政サービスに関すること

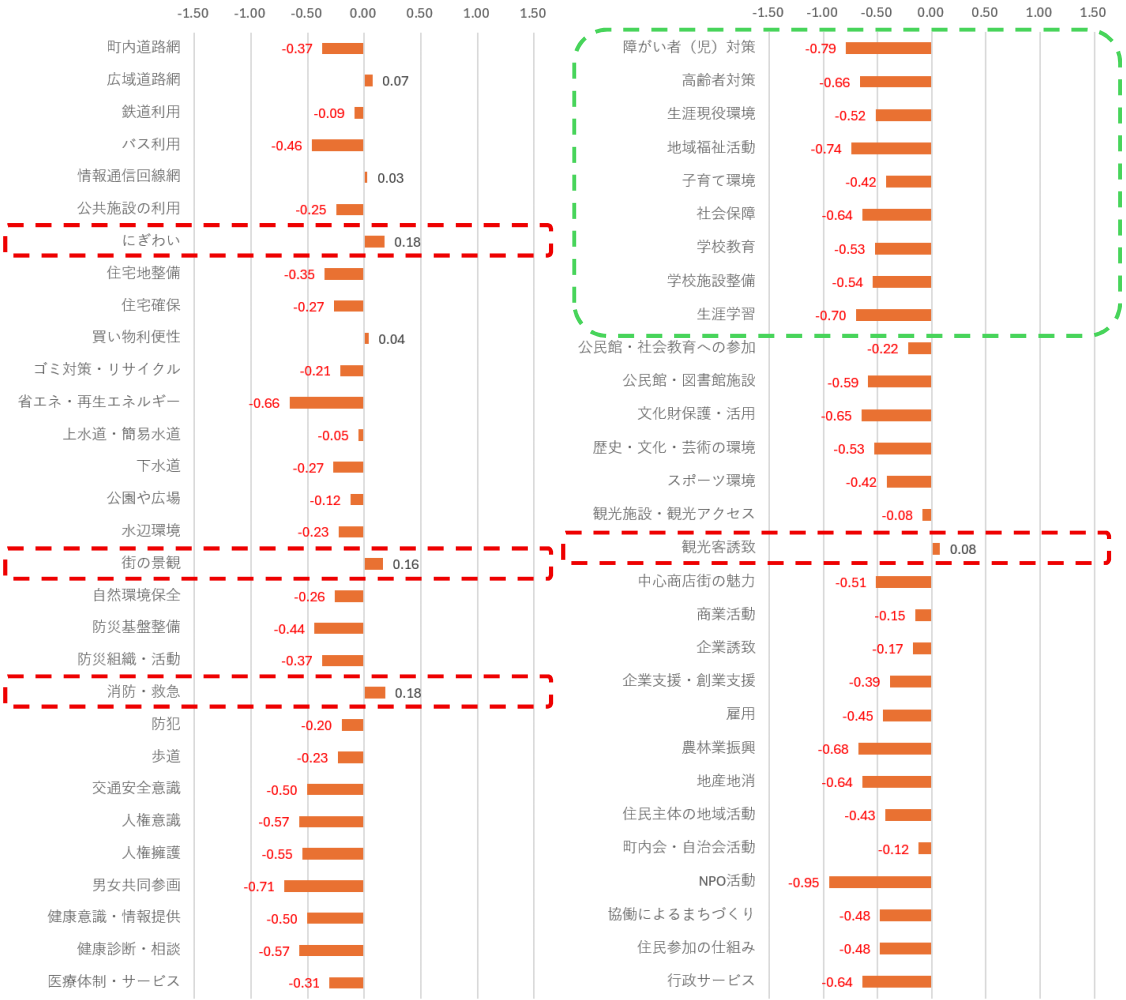
	とても重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要ではない	わからない	無回答	意思表明者	重要度	前回調査時重要度	前回比
1.住民が主体となった地域活動	267	431	53	24	185	111	960	4.50	4.93	-0.43
2.町内会活動や自治会活動	249	450	63	32	172	105	966	4.25	4.37	-0.12
3.NPOなどの市民活動	130	262	87	49	429	114	957	1.76	2.71	-0.95
4.協力（協働）によるまちづくり	252	390	38	20	257	114	957	4.26	4.74	-0.48
5.住民がまちづくりに参加するための仕組みづくり	237	393	37	20	271	113	958	4.12	4.60	-0.48
6.住民に便利な行政サービス	380	375	19	9	182	106	965	5.69	6.33	-0.64

重要度



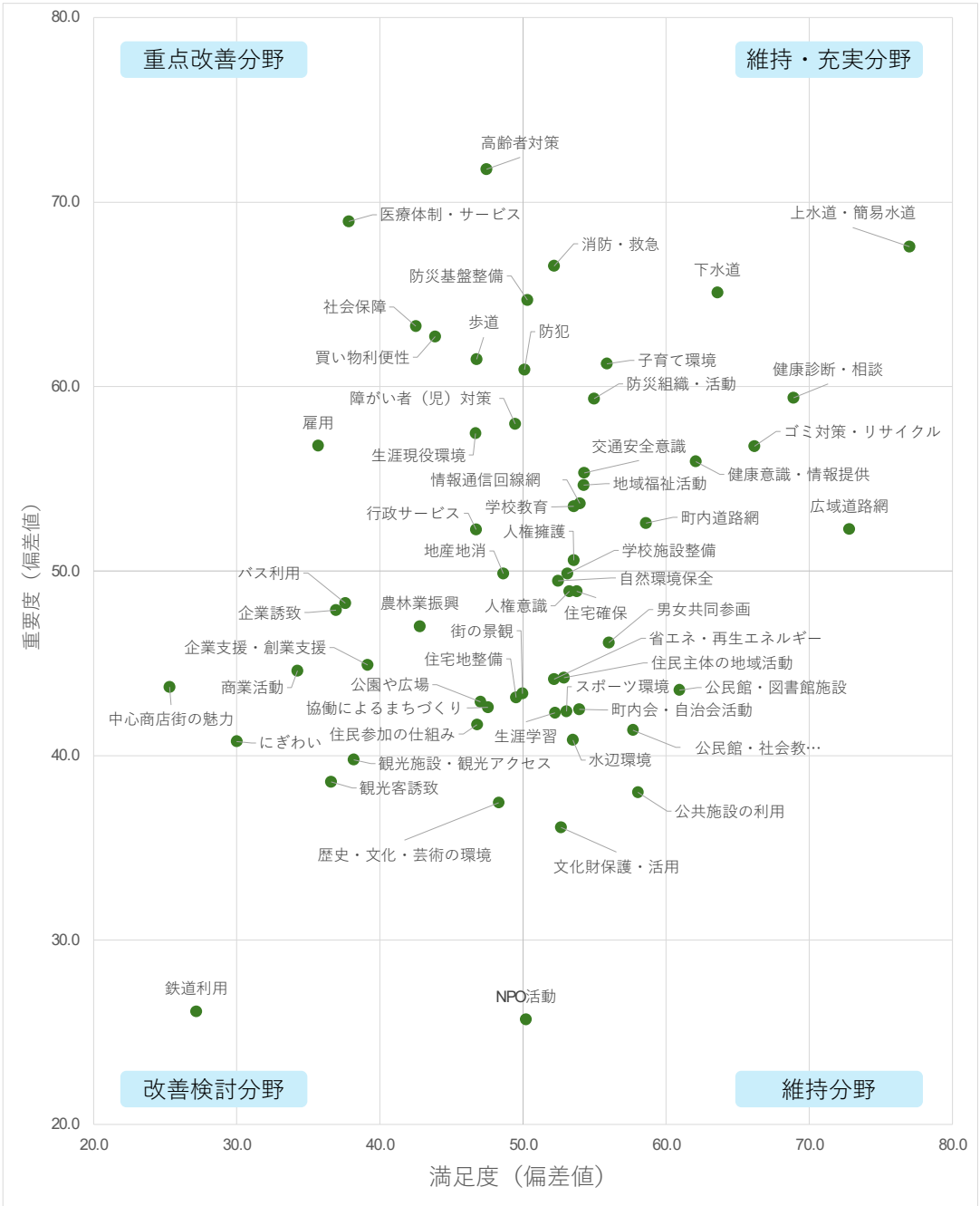
重要度をみると、「医療体制・サービス」、「上水道・簡易水道」、「消防・救急」、「防災基盤整備」、「下水道」など、医療福祉や安心安全、生活環境に関する項目の重要度が高くなっている。一方、「鉄道利用」、「NPO 活動」、「文化財保護・活用」、「歴史・文化・芸術の環境」、「公共施設の利用」など、生活基盤やまちづくり、社会教育に関する項目は比較的重要度が低い項目となっている。

重要度（前回との比較）



重要度の前回比較をみると、全体的に重要度は低下している。特に、「障がい者（児）対策」、「高齢者対策」、「社会保障」、「地域福祉活動」、「子育て環境」など健康医療福祉に関する項目や、「学校教育」、「学校施設整備」、「生涯学習」など教育・文化に関する項目で低下が目立っている。一方、「消防・救急」、「にぎわい」、「街の景観」「観光客誘致」など一部の項目では重要度が上昇している。

住民ニーズマップ


重点改善分野
維持・充実分野
改善検討分野
維持分野
高齢者対策
医療体制・サービス
上水道・簡易水道
消防・救急
下水道
防災基盤整備
社会保障
歩道
防犯
買い物利便性
子育て環境
健康診断・相談
防災組織・活動
障がい者（児）対策
雇用
ゴミ対策・リサイクル
生涯現役環境
交通安全意識
健康意識・情報提供
情報通信回線網
地域福祉活動
学校教育
広域道路網
行政サービス
町内道路網
人権擁護
地産地消
学校施設整備
バス利用
自然環境保全
企業誘致
農林業振興
人権意識
住宅確保
男女共同参画
街の景観
省エネ・再生エネルギー
企業支援・創業支援
住宅地整備
住民主体の地域活動
商業活動
公園や広場
スポーツ環境
公民館・図書館施設
協働によるまちづくり
町内会・自治会活動
中心商店街の魅力
住民参加の仕組み
生涯学習
公民館・社会教…
にぎわい
観光施設・観光アクセス
水辺環境
観光客誘致
公共施設の利用
歴史・文化・芸術の環境
文化財保護・活用
鉄道利用
NPO活動
80.0
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
80.0
重要度（偏差値）
満足度（偏差値）

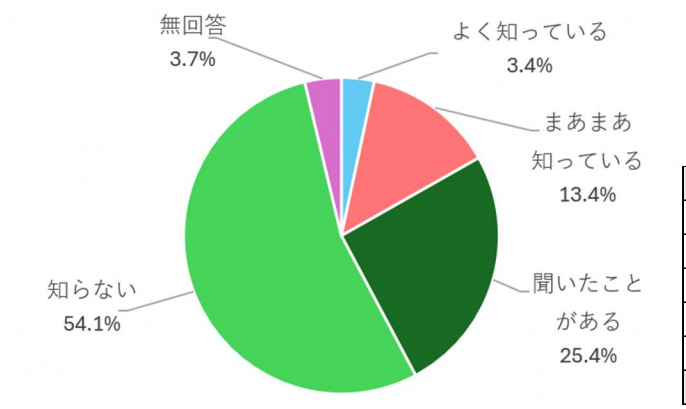
住民ニーズマップの各項目位置づけ

重点改善分野	維持・充実分野
・ 高齢者対策 ・ 医療体制・サービス ・ 社会保障 ・ 買い物利便性 ・ 歩道 ・ 障がい者（児）対策 ・ 生涯現役環境 ・ 雇用 ・ 行政サービス	・ 上水道・簡易水道 ・ 下水道 ・ 消防・救急 ・ 防災基盤整備 ・ 子育て環境 ・ 防犯 ・ 健康診断・相談 ・ 防災組織・活動 ・ ゴミ対策・リサイクル ・ 健康意識・情報提供 ・ 交通安全意識 ・ 地域福祉活動 ・ 情報通信回線網 ・ 学校教育 ・ 町内道路網 ・ 広域道路網 ・ 人権擁護
改善検討分野	**維持分野**
・ 地産地消 ・ バス利用 ・ 企業誘致 ・ 農林業振興 ・ 企業支援・創業支援 ・ 商業活動 ・ 中心商店街の魅力 ・ 街の景観 ・ 住宅地整備 ・ 公園や広場 ・ 協働によるまちづくり ・ 住民参加の仕組み ・ にぎわい ・ 観光施設・観光アクセス ・ 観光客誘致 ・ 歴史・文化・芸術の環境 ・ 鉄道利用	・ 学校施設整備 ・ 自然環境保全 ・ 住宅確保 ・ 人権意識 ・ 男女共同参画 ・ 住民主体の地域活動 ・ 省エネ・再生エネルギー ・ 公民館・図書館施設 ・ 町内会・自治会活動 ・ スポーツ環境 ・ 生涯学習 ・ 公民館・社会教育への参加 ・ 水辺環境 ・ 公共施設の利用 ・ 文化財保護・活用 ・ NPO 活動

各項目の全体の中での位置づけを見ると、「重点改善分野」には、医療・福祉（医療体制、高齢者対策、社会保障)、買い物、雇用、行政サービスなど、住民生活に密接に関わる項目が位置づけられている。一方、「維持・充実分野」には、道路や上下水道などの生活基盤、防災、健康づくり、子育て、学校教育などが位置づけられている。

問３　吉賀町が進めるまちづくりについてお聞きします。

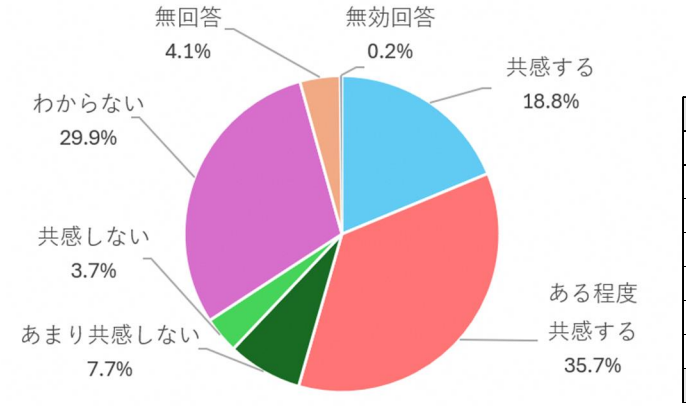
3-1 「第 2 次吉賀町まちづくり計画」の認知度



回答区分	件数	割合
よく知っている	36	3.4%
まあまあ知っている	144	13.4%
聞いたことがある	272	25.4%
知らない	579	54.1%
無回答	40	3.7%
合計	1071	100.0%

認知度について、「よく知っている」「まあまあ知っている」の割合の合計は 16.8%で 2 割に満たない。一方で、「知らない」は半数を超える 54.1%、「聞いたことがある」は約 4 分の 1 の 25.4%となっている。

3-2 「第 2 次吉賀町まちづくり計画」の将来像への共感

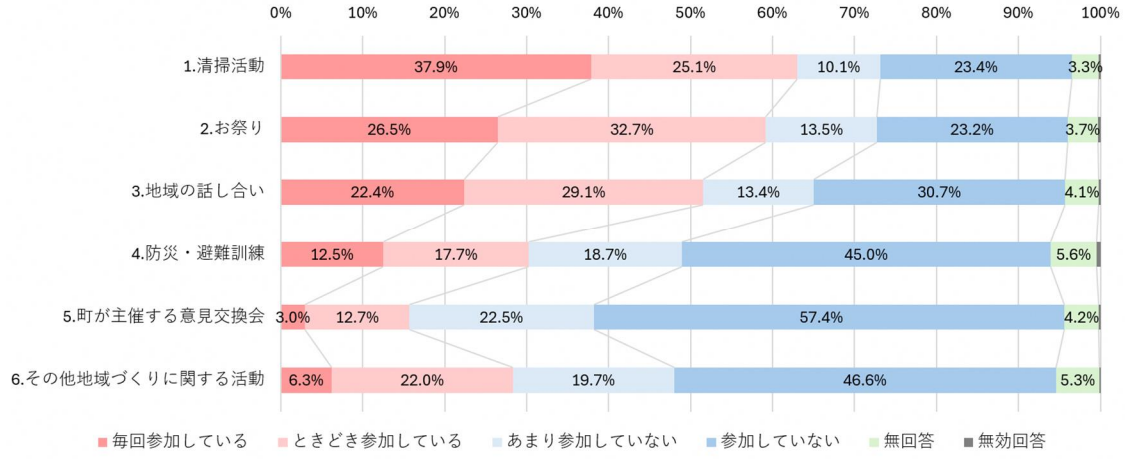


回答区分	件数	割合
共感する	201	18.8%
ある程度共感する	382	35.7%
あまり共感しない	82	7.7%
共感しない	40	3.7%
わからない	320	29.9%
無回答	44	4.1%
無効回答	2	0.2%
合計	1071	100.0%

計画の将来像への共感について、「共感する」「ある程度共感する」が全体の半数を超える 54.5%となっている。一方で、「あまり共感しない」「共感しない」の合計は全体の約 1 割（11.4%)、「わからない」は全体の約 3 割（29.9%）となっている。

3-3 地域活動への参加

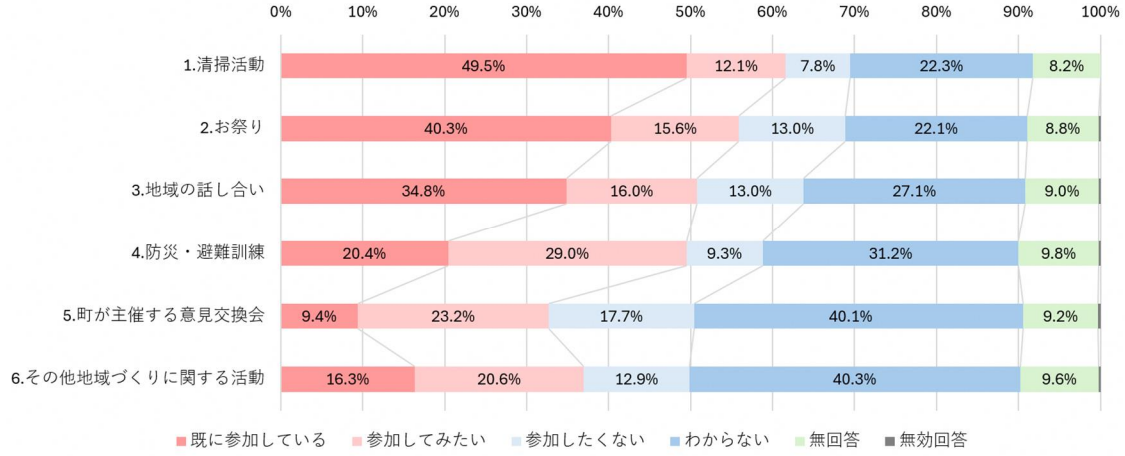
3-3-1 現在の参加頻度



	毎回参加している		ときどき参加している		あまり参加していない		参加していない		無回答		無効回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1.清掃活動	406	37.9%	269	25.1%	108	10.1%	251	23.4%	35	3.3%	2	0.2%
2.お祭り	284	26.5%	350	32.7%	145	13.5%	249	23.2%	40	3.7%	3	0.3%
3.地域の話し合い	240	22.4%	312	29.1%	144	13.4%	329	30.7%	44	4.1%	2	0.2%
4.防災・避難訓練	134	12.5%	190	17.7%	200	18.7%	482	45.0%	60	5.6%	5	0.5%
5.町が主催する意見交換会	32	3.0%	136	12.7%	241	22.5%	615	57.4%	45	4.2%	2	0.2%
6.その他地域づくりに関する活動	67	6.3%	236	22.0%	211	19.7%	499	46.6%	57	5.3%	1	0.1%

地域活動の参加頻度について、「毎回参加している」「ときどき参加している」の合計が「清掃活動」が 63.0%と最も高く、次いで、「お祭り」(59.2%)、「地域の話し合い」(51.5%) となっている。一方、「あまり参加していない」「参加していない」の合計では「町が主催する意見交換会」が最も高く、79.9%となっている。

3-3-2 今後の参加意向

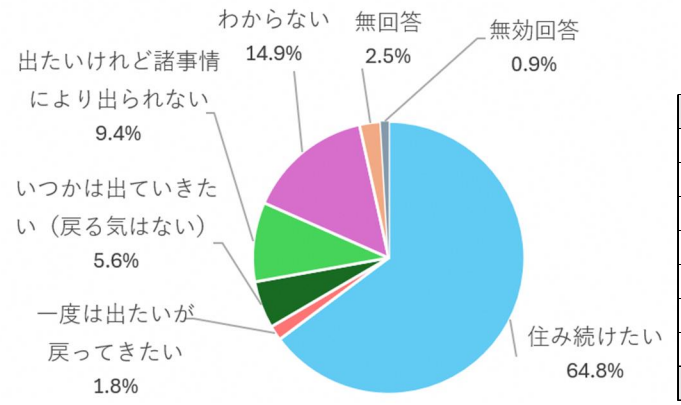


	既に参加している		参加してみたい		参加したくない		わからない		無回答		無効回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1.清掃活動	530	49.5%	130	12.1%	84	7.8%	239	22.3%	88	8.2%	0	0.0%
2.お祭り	432	40.3%	167	15.6%	139	13.0%	237	22.1%	94	8.8%	2	0.2%
3.地域の話し合い	373	34.8%	171	16.0%	139	13.0%	290	27.1%	96	9.0%	2	0.2%
4.防災・避難訓練	219	20.4%	311	29.0%	100	9.3%	334	31.2%	105	9.8%	2	0.2%
5.町が主催する意見交換会	101	9.4%	249	23.2%	190	17.7%	430	40.1%	98	9.2%	3	0.3%
6.その他地域づくりに関する活動	175	16.3%	221	20.6%	138	12.9%	432	40.3%	103	9.6%	2	0.2%

地域活動への今後の参加意向について、「参加してみたい」と回答した割合では「防災・避難訓練」が 29.0%と最も高く、次いで、「町が主催する意見交換会」となっている。一方で、「参加したくない」と回答した割合では「町が主催する意見交換会」が 17.7%と最も高く、次いで、「お祭り」「地域の話し合い」（いずれも 13.0%）となっている。

問４　今後の吉賀町についてお聞きします。

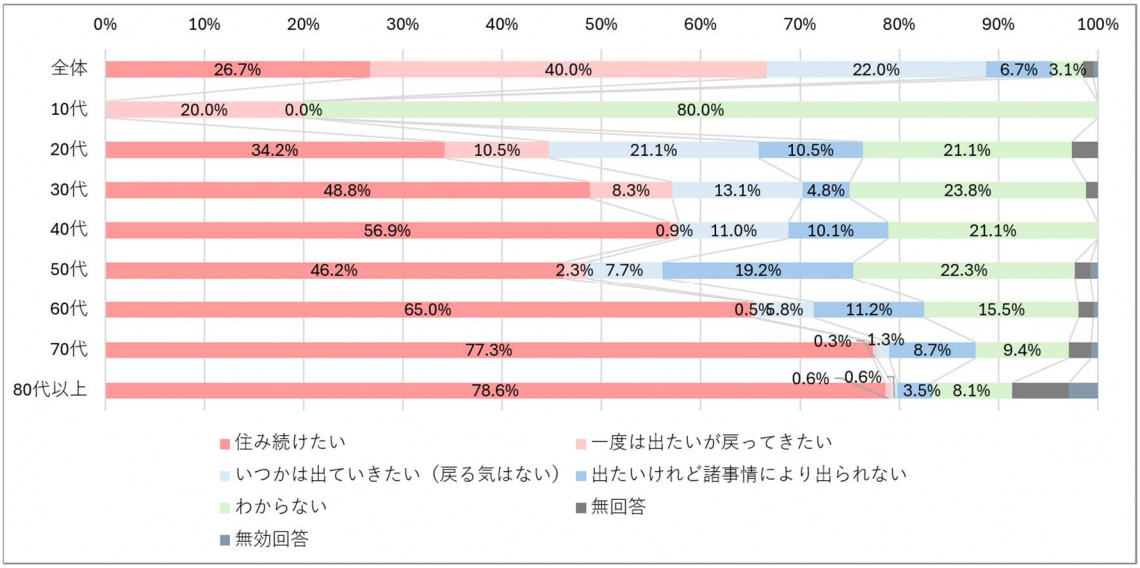
4-1 今後の定住意向



回答区分	件数	割合
住み続けたい	694	64.8%
一度は出たいが戻ってきたい	19	1.8%
いつかは出ていきたい（戻る気	60	5.6%
出たいけれど諸事情により出ら	101	9.4%
わからない	160	14.9%
無回答	27	2.5%
無効回答	10	0.9%
合計	1071	100.0%

今後の定住意向について、「住み続けたい」が 64.8%と最も高くなっている。一方で、「いつかは出ていきたい（戻る気はない）」は 5.6%となっている。

4-1-1 今後の定住意向（クロス集計：年代別）

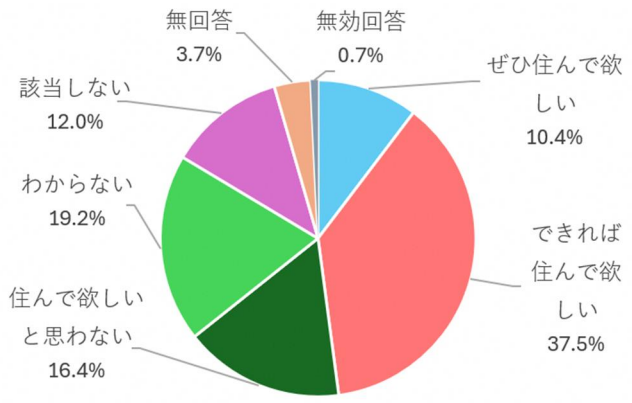


回答区分	全体		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上	
住み続けたい	286	26.7%	0	0.0%	13	34.2%	41	48.8%	62	56.9%	60	46.2%	134	65.0%	239	77.3%	136	78.6%
一度は出たいが戻ってきたい	428	40.0%	1	20.0%	4	10.5%	7	8.3%	1	0.9%	3	2.3%	1	0.5%	1	0.3%	1	0.6%
いつかは出ていきたい（戻る気	236	22.0%	0	0.0%	8	21.1%	11	13.1%	12	11.0%	10	7.7%	12	5.8%	4	1.3%	1	0.6%
出たいけれど諸事情により出ら	72	6.7%	0	0.0%	4	10.5%	4	4.8%	11	10.1%	25	19.2%	23	11.2%	27	8.7%	6	3.5%
わからない	33	3.1%	4	80.0%	8	21.1%	20	23.8%	23	21.1%	29	22.3%	32	15.5%	29	9.4%	14	8.1%
無回答	11	1.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%	0	0.0%	2	1.5%	3	1.5%	7	2.3%	10	5.8%
無効回答	5	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.5%	2	0.6%	5	2.9%
合計	1071	100.0%	5	100.0%	38	100.0%	84	100.0%	109	100.0%	130	100.0%	206	100.0%	309	100.0%	173	100.0%

※年代に関する設問の無回答・無効回答者は 17 名。

今後の定住意向について年代別に見ると、「住み続けたい」と回答した割合は 70 代、80 代以上では約 8 割となっている。一方で、「いつかは出ていきたい（戻る気はない）」と回答した割合は、20 代で 21.1%、30 代で 13.1%と 10 代を除き若い世代ほど割合が高い。また、50 代では「出たいけれど諸事情により出られない」割合が 19.2%と他の世代より高くなっている。

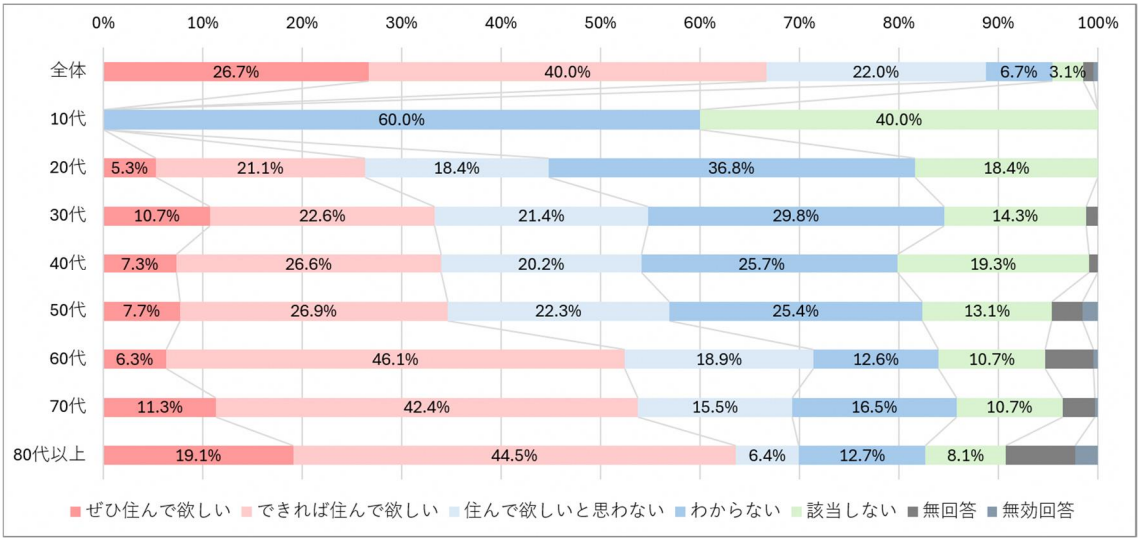
4-2 子ども・孫などの定住について



回答区分	件数	割合
ぜひ住んで欲しい	111	10.4%
できれば住んで欲しい	402	37.5%
住んで欲しいと思わない	176	16.4%
わからない	206	19.2%
該当しない	128	12.0%
無回答	40	3.7%
無効回答	8	0.7%
合計	1071	100.0%

子ども・孫などの定住について、「住んで欲しい」（「ぜひ住んで欲しい」「できれば住んで欲しい」の合計。以下同じ。）の割合は 47.9%と約半数となっている。一方で、「住んで欲しいと思わない」は 16.4%となっている。

4-2-1 子供・孫などの定住について（クロス集計：年代別）

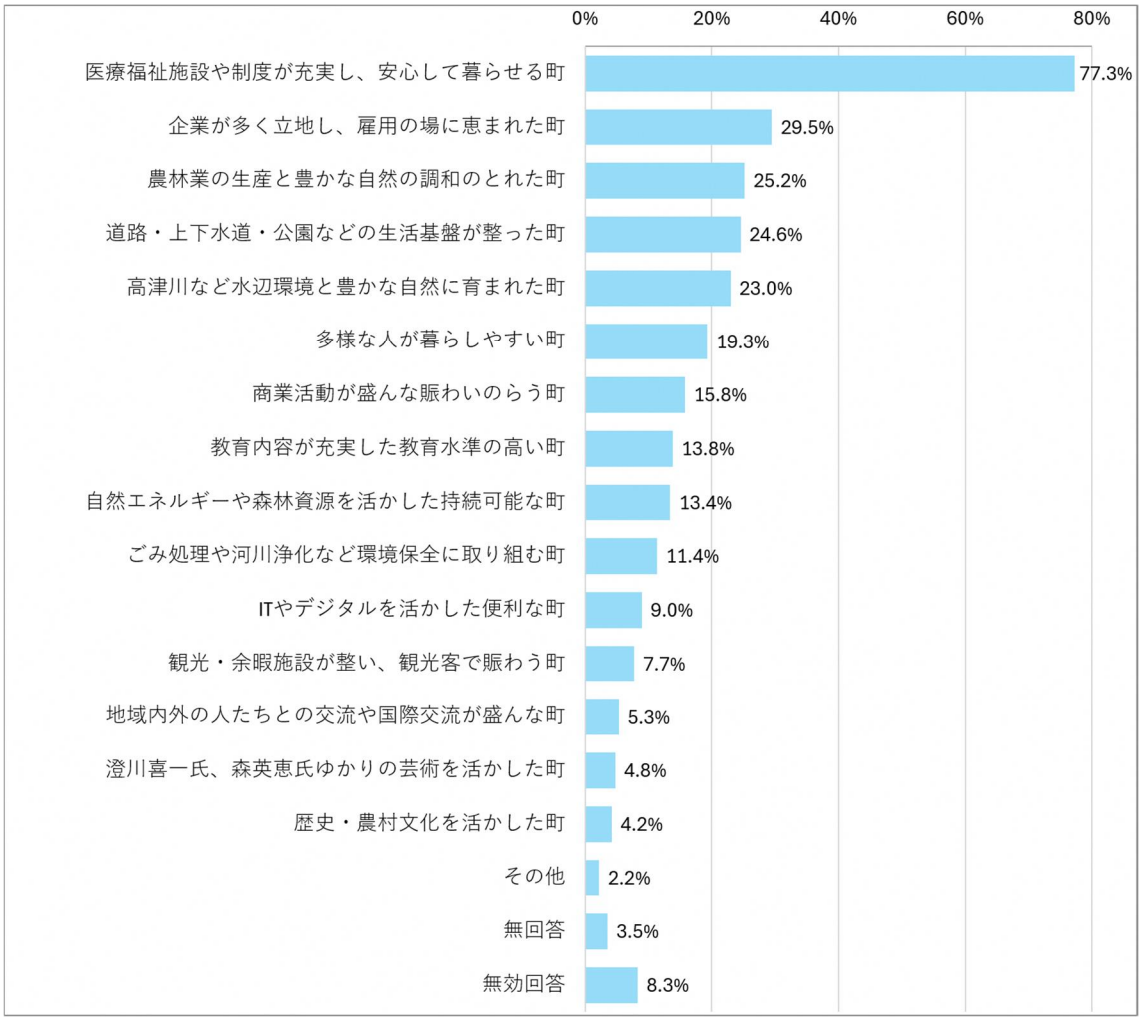


回答区分	全体		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上	
ぜひ住んで欲しい	286	26.7%	0	0.0%	2	5.3%	9	10.7%	8	7.3%	10	7.7%	13	6.3%	35	11.3%	33	19.1%
できれば住んで欲しい	428	40.0%	0	0.0%	8	21.1%	19	22.6%	29	26.6%	35	26.9%	95	46.1%	131	42.4%	77	44.5%
住んで欲しいと思わない	236	22.0%	0	0.0%	7	18.4%	18	21.4%	22	20.2%	29	22.3%	39	18.9%	48	15.5%	11	6.4%
わからない	72	6.7%	3	60.0%	14	36.8%	25	29.8%	28	25.7%	33	25.4%	26	12.6%	51	16.5%	22	12.7%
該当しない	33	3.1%	2	40.0%	7	18.4%	12	14.3%	21	19.3%	17	13.1%	22	10.7%	33	10.7%	14	8.1%
無回答	11	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	1	0.9%	4	3.1%	10	4.9%	10	3.2%	12	6.9%
無効回答	5	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%	1	0.5%	1	0.3%	4	2.3%
合計	1071	100.0%	5	100.0%	38	100.0%	84	100.0%	109	100.0%	130	100.0%	206	100.0%	309	100.0%	173	100.0%

※年代に関する設問の無回答・無効回答者は 17 名。

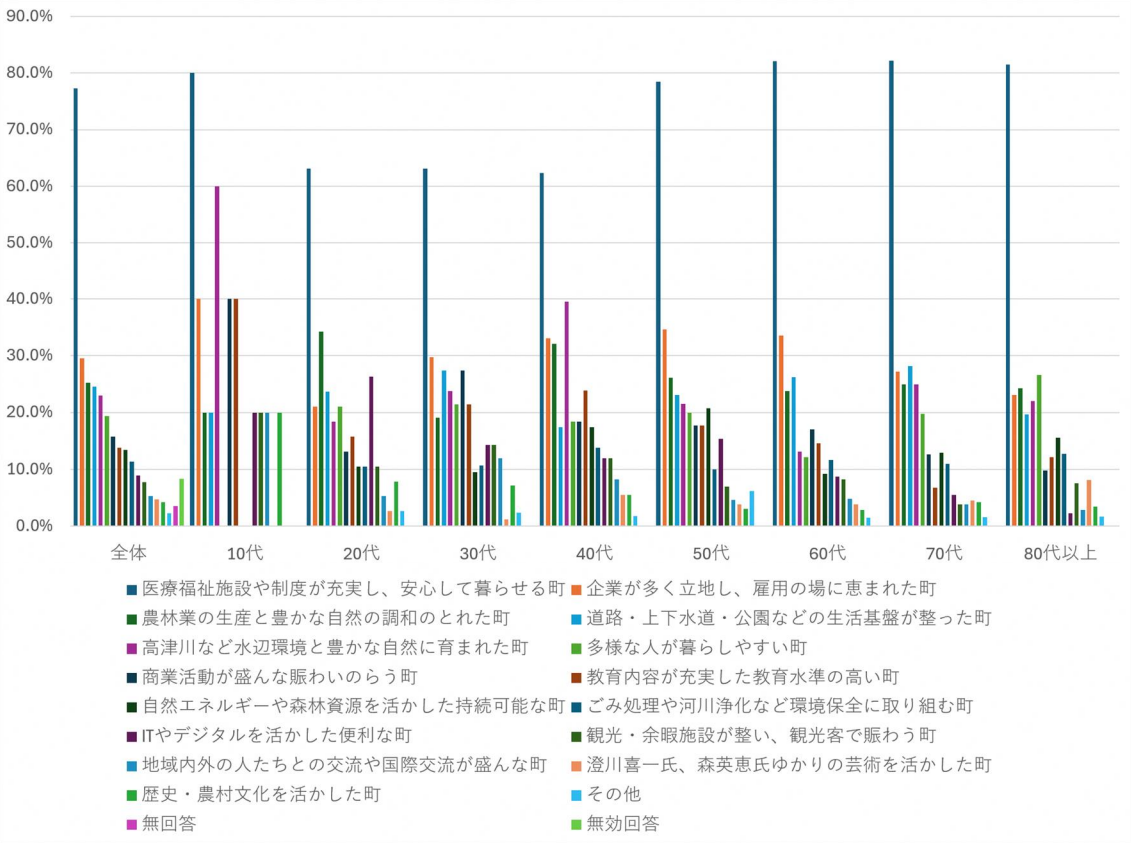
子ども・孫などの定住について、「住んで欲しい」（「ぜひ住んで欲しい」「できれば住んで欲しい」の合計。以下同じ。）の割合は 80 代以上が最も高く 63.6%となっており、世代が下がるごとに、割合が低くなっている。一方で、「住んで欲しいと思わない」の割合は 50 代が最も高く 22.3%で、20 代～60 代の約 2 割が「住んで欲しいと思わない」と回答している。

4-3 今後の吉賀町のまちづくりを進めていく上で重要と思う施策



今後の重要な施策として、「医療福祉施設や制度が充実し、安心して暮らせる町」が77.3%と最も高く、次点の「企業が多く立地し、雇用の場に恵まれた町」（29.5%）を大きく上回っている。
そのほかでは、「農林業の生産と豊かな自然の調和のとれた町」（25.2%）、「道路・上下水道・公園などの生活基盤が整った町」（24.6%）、「高津川など水辺環境と豊かな自然に育まれた町」（23.0%）などが続いている。

4-3-1 今後の吉賀町のまちづくりを進めていく上で重要と思う施策（クロス集計：年代別）



回答区分	全体		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上	
医療福祉施設や制度が充実し、安心して暮らせる町	828	77.3%	4	80.0%	24	63.2%	53	63.1%	68	62.4%	102	78.5%	169	82.0%	254	82.2%	141	81.5%
企業が多く立地し、雇用の場に恵まれた町	316	29.5%	2	40.0%	8	21.1%	25	29.8%	36	33.0%	45	34.6%	69	33.5%	84	27.2%	40	23.1%
農林業の生産と豊かな自然の調和のとれた町	270	25.2%	1	20.0%	13	34.2%	16	19.0%	35	32.1%	34	26.2%	49	23.8%	77	24.9%	42	24.3%
道路・上下水道・公園などの生活基盤が整った町	263	24.6%	1	20.0%	9	23.7%	23	27.4%	19	17.4%	30	23.1%	54	26.2%	87	28.2%	34	19.7%
高津川など水辺環境と豊かな自然に育まれた町	246	23.0%	3	60.0%	7	18.4%	20	23.8%	43	39.4%	28	21.5%	27	13.1%	77	24.9%	38	22.0%
多様な人が暮らしやすい町	207	19.3%	0	0.0%	8	21.1%	18	21.4%	20	18.3%	26	20.0%	25	12.1%	61	19.7%	46	26.6%
商業活動が盛んな賑わいのらう町	169	15.8%	2	40.0%	5	13.2%	23	27.4%	20	18.3%	23	17.7%	35	17.0%	39	12.6%	17	9.8%
教育内容が充実した教育水準の高い町	148	13.8%	2	40.0%	6	15.8%	18	21.4%	26	23.9%	23	17.7%	30	14.6%	21	6.8%	21	12.1%
自然エネルギーや森林資源を活かした持続可能な町	144	13.4%	0	0.0%	4	10.5%	8	9.5%	19	17.4%	27	20.8%	19	9.2%	40	12.9%	27	15.6%
ごみ処理や河川浄化など環境保全に取り組む町	122	11.4%	0	0.0%	4	10.5%	9	10.7%	15	13.8%	13	10.0%	24	11.7%	34	11.0%	22	12.7%
ITやデジタルを活かした便利な町	96	9.0%	1	20.0%	10	26.3%	12	14.3%	13	11.9%	20	15.4%	18	8.7%	17	5.5%	4	2.3%
観光・余暇施設が整い、観光客で賑わう町	83	7.7%	1	20.0%	4	10.5%	12	14.3%	13	11.9%	9	6.9%	17	8.3%	12	3.9%	13	7.5%
地域内外の人たちとの交流や国際交流が盛んな町	57	5.3%	1	20.0%	2	5.3%	10	11.9%	9	8.3%	6	4.6%	10	4.9%	12	3.9%	5	2.9%
澄川喜一氏、森英恵氏ゆかりの芸術を活かした町	51	4.8%	0	0.0%	1	2.6%	1	1.2%	6	5.5%	5	3.8%	8	3.9%	14	4.5%	14	8.1%
歴史・農村文化を活かした町	45	4.2%	1	20.0%	3	7.9%	6	7.1%	6	5.5%	4	3.1%	6	2.9%	13	4.2%	6	3.5%
その他	24	2.2%	0	0.0%	1	2.6%	2	2.4%	2	1.8%	8	6.2%	3	1.5%	5	1.6%	3	1.7%
無回答	38	3.5%																
無効回答	89	8.3%																
合計	1071	####	16		85		199		251		301		465		630		337	

年代別にみると、「医療福祉施設や制度が充実し、安心して暮らせる町」は、すべての年代で最も高くなっている。また、20 代では「IT やデジタルを活かした便利な町」、30 代では「道路・上下水道・公園などの生活基盤が整った町」、40 代では「高津川など水辺環境と豊かな自然に育まれた町」「教育内容が充実した教育水準の高い町」の割合が他の年代と比べて高くなっており、年代によって重視する施策に特徴がみられる。

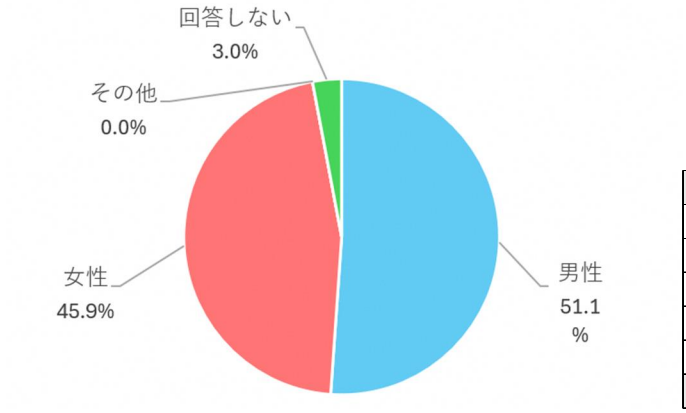
2-3. 中高生アンケート調査結果

調査概要（再掲）

目　的	今後、町の将来を担っていく中高生のニーズ把握　等
期　間	令和 8 年 7 月
対象者	吉賀町に住む全中高生
方　法	アンケート調査（町内の中学校・高校等を通じた配布・回収、web 調査）
回収数	135 サンプル（回収率 80.8%）

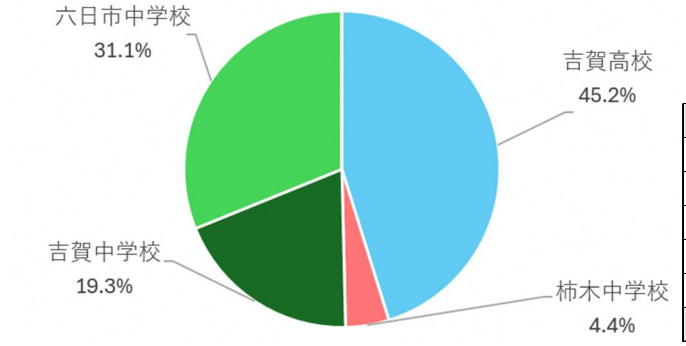
問 1 あなたご自身とご家族についてお聞きします。

1-1 性別



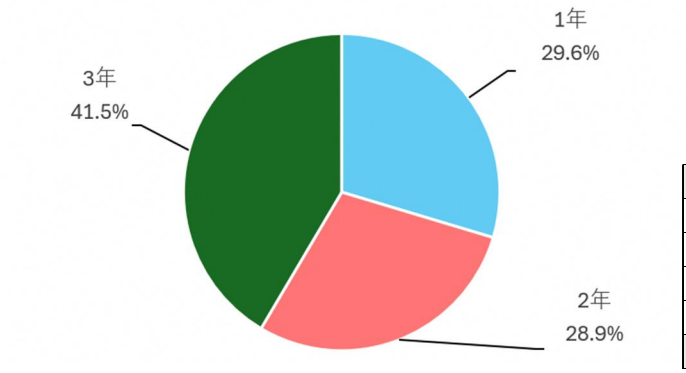
回答区分	件数	割合
男性	69	51.1%
女性	62	45.9%
その他	0	0.0%
回答しない	4	3.0%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%

1-2 通っている学校



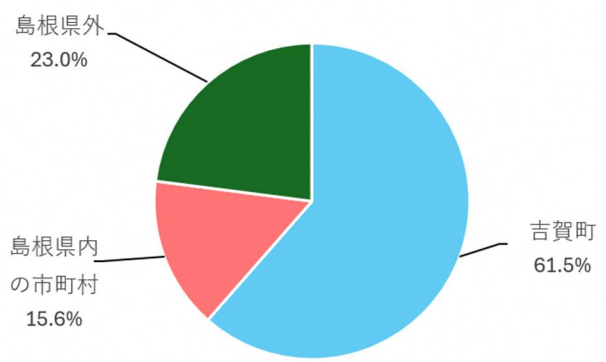
回答区分	件数	割合
吉賀高校	61	45.2%
柿木中学校	6	4.4%
吉賀中学校	26	19.3%
六日市中学校	42	31.1%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%

1-3 学年



回答区分	件数	割合
1年	40	29.6%
2年	39	28.9%
3年	56	41.5%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%

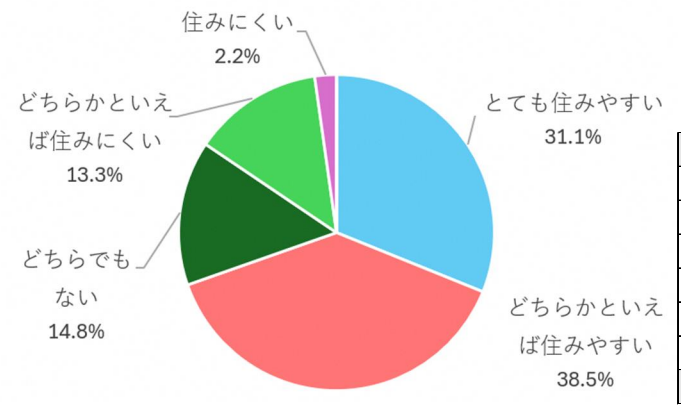
1-4 出身地



回答区分	件数	割合
吉賀町	83	61.5%
島根県内の市町村	21	15.6%
島根県外	31	23.0%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%

問２　現在の吉賀町についてお聞きします。

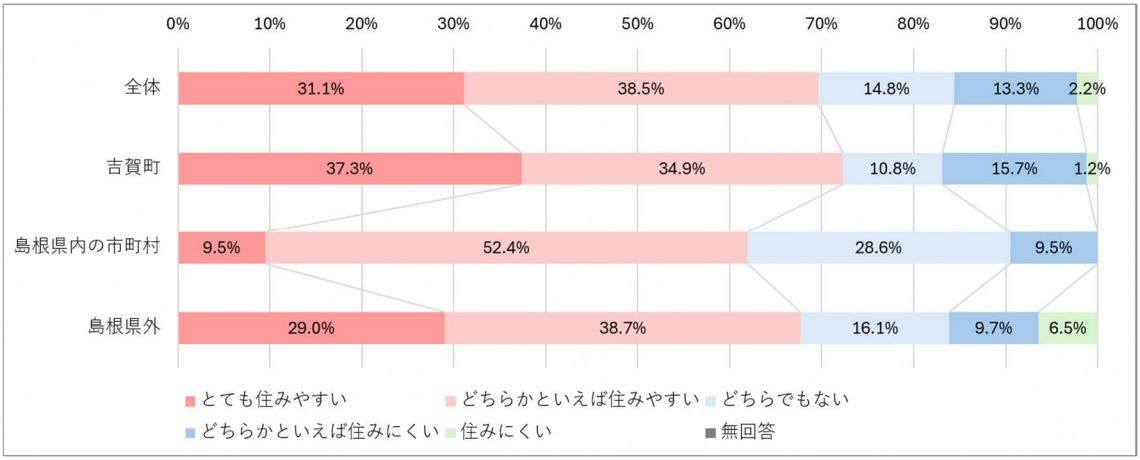
2-1 吉賀町の住みやすさ



回答区分	件数	割合
とても住みやすい	42	31.1%
どちらかといえば住みやすい	52	38.5%
どちらでもない	20	14.8%
どちらかといえば住みにくい	18	13.3%
住みにくい	3	2.2%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%

「住みやすい」と回答した割合は 69.6%となっている。一方で、「住みにくい」と回答した割合は 15.5%、「どちらでもない」が 14.8%となっている。

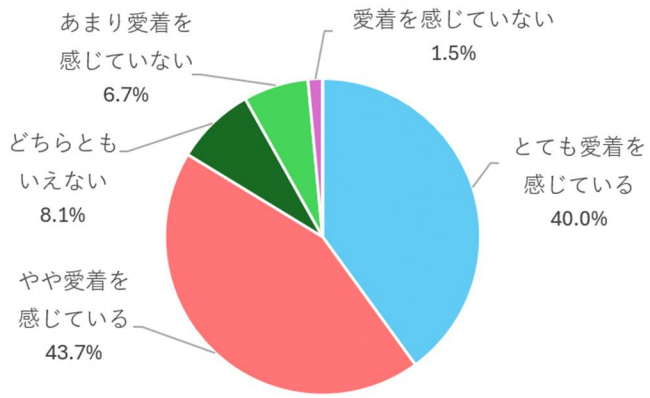
2-1-1 吉賀町の住みやすさ（クロス集計：出身地）



回答区分	全体		吉賀町		島根県内の市町村		島根県外	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
とても住みやすい	42	31.1%	31	37.3%	2	9.5%	9	29.0%
どちらかといえば住みやすい	52	38.5%	29	34.9%	11	52.4%	12	38.7%
どちらでもない	20	14.8%	9	10.8%	6	28.6%	5	16.1%
どちらかといえば住みにくい	18	13.3%	13	15.7%	2	9.5%	3	9.7%
住みにくい	3	2.2%	1	1.2%	0	0.0%	2	6.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	135	100.0%	83	100.0%	21	100.0%	31	100.0%

出身地別では、「住みやすい」と回答した割合は吉賀町出身が 72.2%と最も高く、ついで島根県外の 67.7%となっている。一方、「住みにくい」と回答した割合でも吉賀町出身が最も多く、16.9%となっている。

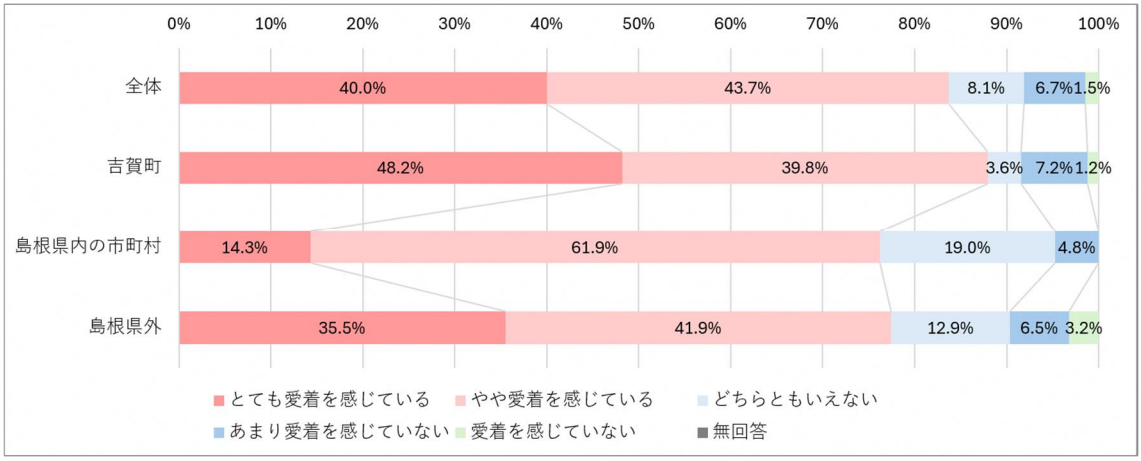
2-2 吉賀町に対する愛着



回答区分	件数	割合
とても愛着を感じている	54	40.0%
やや愛着を感じている	59	43.7%
どちらともいえない	11	8.1%
あまり愛着を感じていない	9	6.7%
愛着を感じていない	2	1.5%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%

「愛着を感じている」割合は 83.7%と高くなっている。一方、「愛着を感じていない」割合は 8.2%、「どちらともいえない」は 8.1%となっている。

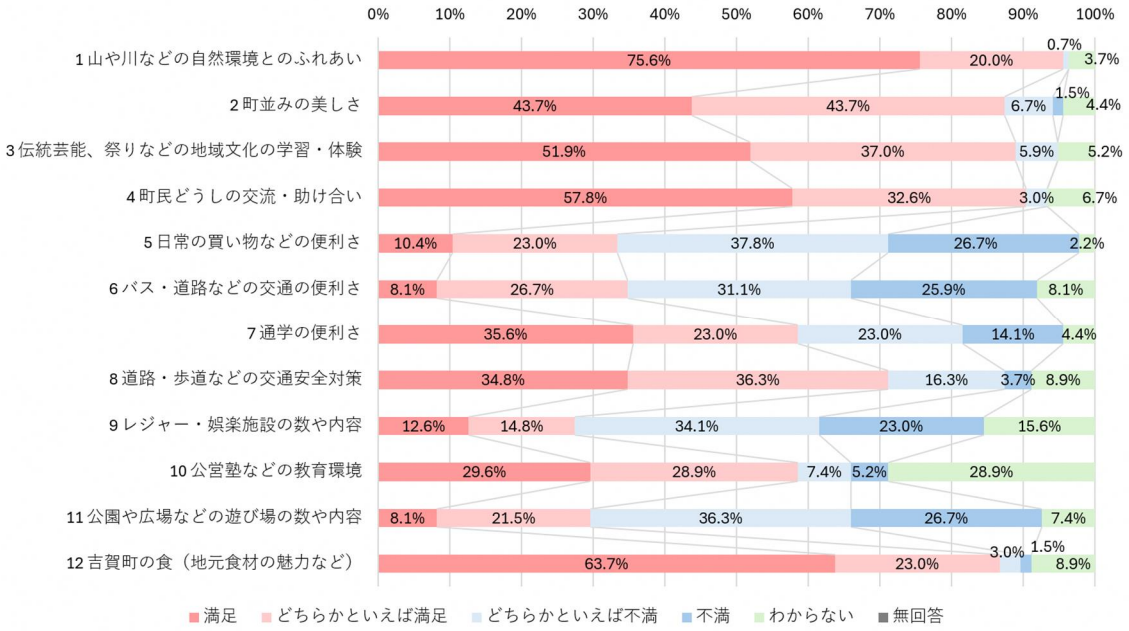
2-2-1 吉賀町に対する愛着（クロス集計：出身地）



回答区分	全体		吉賀町		島根県内の市町村		島根県外	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
とても愛着を感じている	54	40.0%	40	48.2%	3	14.3%	11	35.5%
やや愛着を感じている	59	43.7%	33	39.8%	13	61.9%	13	41.9%
どちらともいえない	11	8.1%	3	3.6%	4	19.0%	4	12.9%
あまり愛着を感じていない	9	6.7%	6	7.2%	1	4.8%	2	6.5%
愛着を感じていない	2	1.5%	1	1.2%	0	0.0%	1	3.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	135	100.0%	83	100.0%	21	100.0%	31	100.0%

出身地別にみると、「愛着を感じている」割合は、吉賀町出身が 88.0%と最も高くなっている。一方、「愛着を感じていない」割合では、島根県外が最も多く 9.7%となっている。

2-3 毎日の生活の満足度

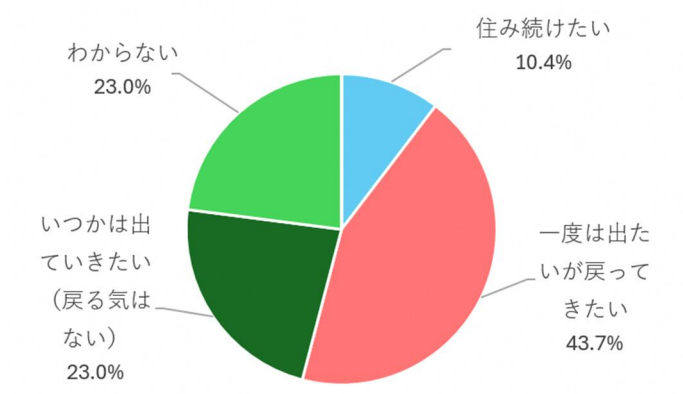


	満足		どちらかといえば満足		どちらかといえば不満		不満		わからない		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1 山や川などの自然環境とのふれあい	102	75.6%	27	20.0%	1	0.7%	0	0.0%	5	3.7%	0	0.0%
2 町並みの美しさ	59	43.7%	59	43.7%	9	6.7%	2	1.5%	6	4.4%	0	0.0%
3 伝統芸能、祭りなどの地域文化の学習・体験	70	51.9%	50	37.0%	8	5.9%	0	0.0%	7	5.2%	0	0.0%
4 町民どうしの交流・助け合い	78	57.8%	44	32.6%	4	3.0%	0	0.0%	9	6.7%	0	0.0%
5 日常の買い物などの便利さ	14	10.4%	31	23.0%	51	37.8%	36	26.7%	3	2.2%	0	0.0%
6 バス・道路などの交通の便利さ	11	8.1%	36	26.7%	42	31.1%	35	25.9%	11	8.1%	0	0.0%
7 通学の便利さ	48	35.6%	31	23.0%	31	23.0%	19	14.1%	6	4.4%	0	0.0%
8 道路・歩道などの交通安全対策	47	34.8%	49	36.3%	22	16.3%	5	3.7%	12	8.9%	0	0.0%
9 レジャー・娯楽施設の数や内容	17	12.6%	20	14.8%	46	34.1%	31	23.0%	21	15.6%	0	0.0%
10 公営塾などの教育環境	40	29.6%	39	28.9%	10	7.4%	7	5.2%	39	28.9%	0	0.0%
11 公園や広場などの遊び場の数や内容	11	8.1%	29	21.5%	49	36.3%	36	26.7%	10	7.4%	0	0.0%
12 吉賀町の食（地元食材の魅力など）	86	63.7%	31	23.0%	4	3.0%	2	1.5%	12	8.9%	0	0.0%

生活の満足度では、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合の合計は「山や川などの自然環境とのふれあい」が 95.6%と最も高く、次いで、「町民同士の助け合い」（90.4%）、「吉賀町の食（地元食材の魅力など）」（86.7%）となっている。一方で、「どちらかといえば不満」「不満」と回答した割合の合計は「レジャー・娯楽施設の数や内容」が 57.1%と最も高く、次いで、「日常の買い物などの便利さ」（64.5%）、「公園や広場などの遊び場の数や内容」（63.0%）となっている

問３今後の吉賀町についてお聞きします。

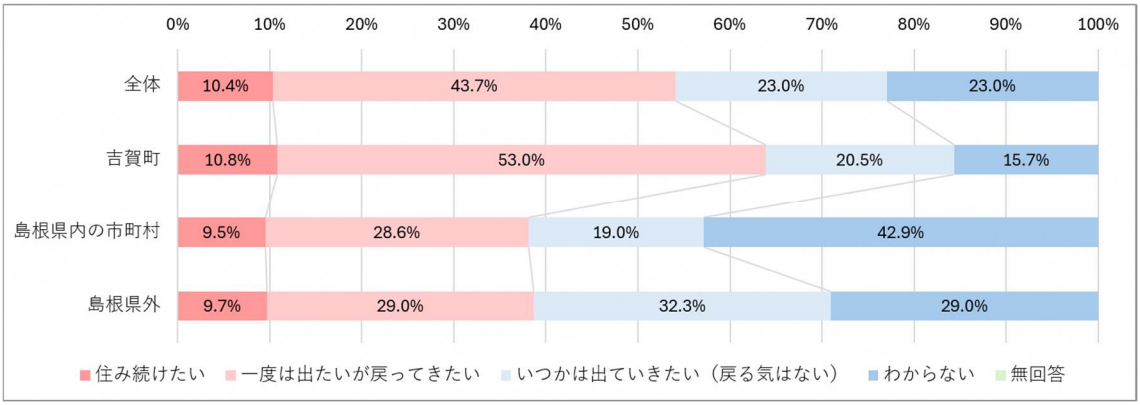
3-1 今後の定住意向



回答区分	件数	割合
住み続けたい	14	10.4%
一度は出たいが戻ってきたい	59	43.7%
いつかは出ていきたい（戻る気はない）	31	23.0%
わからない	31	23.0%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%

今後の定住意向について、「一度は出たいが戻ってきたい」と回答した割合が 43.7%と最も高く、次いで、「いつかは出ていきたい（戻る気はない）」「わからない」（いずれも 23.0%）となっている。一方、「住み続けたい」は全体の約１割（10.4%）となっている。

3-1-1 今後の定住意向（クロス集計：出身地）

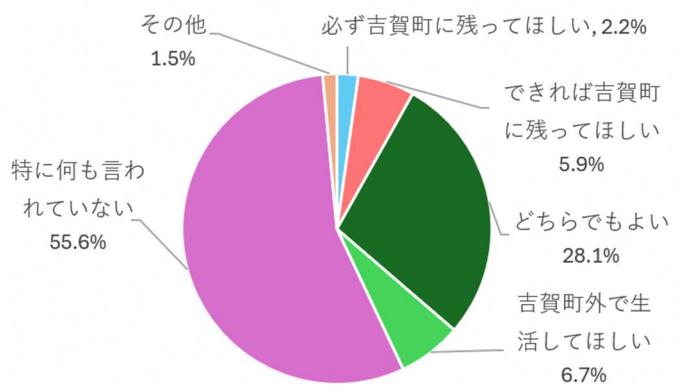


回答区分	全体		吉賀町		島根県内の市町村		島根県外	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
住み続けたい	14	10.4%	9	10.8%	2	9.5%	3	9.7%
一度は出たいが戻ってきたい	59	43.7%	44	53.0%	6	28.6%	9	29.0%
いつかは出ていきたい（戻る気はない）	31	23.0%	17	20.5%	4	19.0%	10	32.3%
わからない	31	23.0%	13	15.7%	9	42.9%	9	29.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	135	100.0%	83	100.0%	21	100.0%	31	100.0%

出身地別でみると、「住み続けたい」はいずれも約１割となっている。また、「一度出たいが戻ってきたい」は、吉賀町出身者が 53.0%と高く、島根県内の市町村、島根県外出身者も約３割が回答している。一方で、「いつかは出たい（戻る気はない）」と回答した

割合は、島根県外出身者が約 3 割、吉賀町出身者、島根県内の市町村出身者は約 2 割となっている。

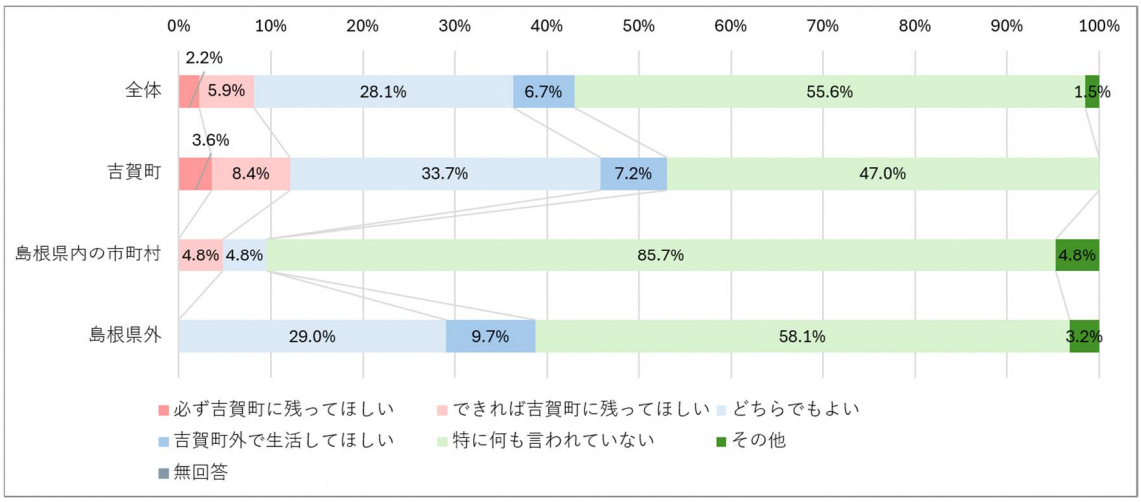
3-2 自身の将来についての家族からの意見



回答区分	件数	割合
必ず吉賀町に残ってほしい	3	2.2%
できれば吉賀町に残ってほしい	8	5.9%
どちらでもよい	38	28.1%
吉賀町外で生活してほしい	9	6.7%
特に何も言われていない	75	55.6%
その他	2	1.5%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%

「特に何も言われていない」が 55.6%と最も高く、次いで「どちらでもよい」28.1%となっている。一方、「必ず吉賀町に残ってほしい」は 2.2%、「できれば吉賀町に残ってほしい」は 5.9%と低くなっている。

3-2-2 自身の将来についての家族からの意見（クロス集計：出身地）



回答区分	全体		吉賀町		島根県内の市町村		島根県外	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
必ず吉賀町に残ってほしい	3	2.2%	3	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
できれば吉賀町に残ってほしい	8	5.9%	7	8.4%	1	4.8%	0	0.0%
どちらでもよい	38	28.1%	28	33.7%	1	4.8%	9	29.0%
吉賀町外で生活してほしい	9	6.7%	6	7.2%	0	0.0%	3	9.7%
特に何も言われていない	75	55.6%	39	47.0%	18	85.7%	18	58.1%
その他	2	1.5%	0	0.0%	1	4.8%	1	3.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	135	100.0%	83	100.0%	21	100.0%	31	100.0%

出身地別にみると、吉賀町出身では「必ず吉賀町に残ってほしい」「できれば吉賀町に残ってほしい」との回答が他の出身地より高くなっている。一方で、いずれの出身地でも「どちらでもよい」または「特に何も言われていない」が多くを占めており、特に島根県内の市町村出身では「特に何も言われていない」が 85.7%と高くなっている。